# 定期報告書作成支援ツール <工場・事業場等用> 操作マニュアル

## 令和4年2月1日

資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー課

## 目次

<u>はじめに</u>
定期報告書作成支援ツールの概要 ・・・・・・・・・・・・・・1
(参考) 定期報告書とは2
<u>ツールを導入する</u>
動作環境 ····································
定期報告書作成支援ツールのダウンロード/設置3
定期報告書作成支援ツールの削除6
使い方(基本編)
入力から報告書完成までのフロー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
事前準備(ツールを使用する前に)8
ツールの起動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
ステップ1「情報入力」
• 「基本情報入力」 ······13
• 「エネルギー使用量入力」 ············22
<ul> <li>「その他の情報入力」</li> <li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>
ステップ2「プレビューで確認」
ステップ3「報告書出力」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・59
<ul> <li>提出前チェック</li> <li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>
<ul> <li>提出書類の出力</li> <li>····································</li></ul>
保存用データの出力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・62
参考: CO2計算シートの出力 ·············64
<u>便利な使い方</u>
「保存用データ」を活用する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
複数事業所間でデータのやりとりをする66
<u>その他</u>
注意事項(必ずお読みください) ・・・・・・・・・・・・・・・69
よくあるFAQ ・・・・・71
ホームページから最新情報を入手する
問い合わせ先

## 定期報告書作成支援ツールの概要

定期報告書作成支援ツール(以下「本ツール」と言います。)は、エネルギーの使用の 合理化等に関する法律(以下「省エネルギー法」と言います。)に基づき提出が義務付け られている定期報告書の作成を支援するためのツールです。

本ツールでは、通常の報告書作成手順(各表にそれぞれ必要な事項を記入)ではなく、 <u>必要十分な情報を入力し、本ツールで定期報告書各表に自動的に反映することで、適切か</u> <u>つ効率的な報告書作成をサポート</u>します。





#### (参考)定期報告書とは

省エネルギー法に基づき指定を受けた特定事業者及び特定連鎖化事業者は、毎年度、定 期報告書と中長期計画書の提出が義務付けられています。

定期報告書は、国が定めた様式に基づき、事業者が設置する工場・事業場のエネルギー 使用量等について、特定-第1表から第12表までを記入し、国に提出します。

さらに、エネルギー管理指定工場等の指定を受けている場合は、指定工場等ごとに指定-第1表から第10表までを記入し、事業者全体の報告書に添付して国に提出することが必要 です。

地球温暖化対策の推進に関する法律(以下「温対法」という。)に基づくエネルギー起 源CO2排出量等については、定期報告書(特定-12表(エネルギー管理指定工場等を有 している場合は指定-第10表))により報告することで、温対法の報告とみなされます。

## ツールを導入する

動作環境

#### ○ パソコン (動作環境)

ハードウェア	CPU: 2.33GHz以上のx86互換プロセッサー(又はその相当品) メモリ:4GB以上を推奨 ハードディスクドライブ(HDD);2GB以上の空きエリア 画像解像度:1024×768以上
オペレーティングシステム	次のいずれかを推奨しています。なお、いずれも日本語対応版であること
(OS)	が必要です。
	✓ Windows 8.1, 10
必要なツール	✓ Microsoft .NET Framework 4.6.1 以上
	✓ 当ツールで作成したPDFファイルを閲覧するためには、別途PDFを 閲覧するツール(Adobe Readerなど)が必要です。

定期報告書作成支援ツールのダウンロード/設置

### (1) 導入用自己解凍形式ファイルのダウンロード

ホームページから自己解凍形式ファイルをダウンロードします。任意のフォルダ(デ スクトップ等)に保存してください。これでツールの設置は完了です。



## (2) インストールの手順

① Teiki\_Jigyo\_V9.0\_Setup.exeを起動します。

アイル ホーム 共有	表示 3 切り取り		1 9	<b>b</b> •		▲ すべて選択
イックアクセス コピー 貼り/ ピン留めする	1 🐷 バスのコピー 対け 🖻 ショートカットの貼り付け	移動先 北一先 削除 名前の 変更	新しい フォルダー	]-	プロパティ 2 編集	日 選択解除 日 選択の切り替け
グリッ	7.5-1	整理	新規		1211	選択
> · · 🛧 📙 > Te	iki_Jigyo_V9.0_Setup		~	õ	,O Teiki_Jigy	o_V9.0_Setupの検索
★ クイック アクセス ● OneDrive	名前	更新日時 Setup.exe 2021/12/01 18:18	種類 アプリケーショ	1) 1)	サイズ 100,899 KB	
<ul> <li>★ クイック アクセス</li> <li>OneDrive</li> <li>■ PC</li> <li>         オットワーク     </li> </ul>	名前 Ling Teiki Jigyo V9.0 S	更新日時 Setup.exe 2021/12/01 18:18	種類 アプリケーシ:	iV	サイズ 100,899 KB	
<ul> <li>★ クイック アクセス</li> <li>● OneDrive</li> <li>■ PC</li> <li>         オットワーク     </li> </ul>	冬前 	更新日時 Setup.exe 2021/12/0118-18	「理頼 アプリケーショ	2	₩473 100,899 KB	

2	本ツールは.NET Framework 4.6.1以上を
	必要としています。
	すでにインストールされている場合は、飛ば
	して③に進みます。
	インストールされていない場合は、
	.NET Framework 4.6.1のインストーラー
	が表示されますので[同意する]を押してく
	ださい。
	発行元を確認するウィンドウが表示されま
	すので、管理者としてインストールが可能な
	場合は、[はい]を押してください。

 本ツールのインストーラーが表示されます ので[次へ]をクリックしてください。

ジ 定期報告書作成支援ツールV6 セットアップ
インストールするコンボーネント:
Microsoft .NET Framework 4 (x86 および x64)
次のライセンス条項をお読みください。PageDown キーを使って スクロールしてください。
マイクロソフト ソフトウェア追加ライセンス条項
MICROSOFT WINDOWS オペレーティング システム用 MICROSOFT .NET FRAMEWORK 4
MICROSOFT WINDOWS オペレーティング システム用MICROSOFT .NET FRAMEWORK 4 CLIENT PROFILE
および関連する LANGUAGE PACK
Microsoft Corporation またはお客様の所在地に応じては、その関連会社(以 🔹
目 印刷用のライセンス条項 (MSLT) を表示する
ライセンス条項に同意しますか?
同意しない) を選ぶとインストールを中止します。インストール するには、この契約に同意してください。 同意する(A) 同意しない(D)



④ 次に、インストールするフォルダを指定します。変更の必要がなければそのまま[次へ]
 をクリックしてください。

 ⑤ インストール確認画面が表示されますので、 そのまま[次へ]をクリックしてください。
 発行元を確認するウィンドウが表示されますので、管理者としてインストールが可能な 場合は、[はい]を押してください。

🕼 定期報告書作成支援ツールv9.0	-		×
インストールの確認			
定期報告書作成支援ツール・9.0 をインストールする準備ができました	•		
[)次へ]をクリックしてインストールを開始してください。			
〈戻る(B) 汰へ(N)	>	<b>+</b> +)	ノセル

⑥「インストールが完了しました。」と表示されればインストールは完了です。
 [閉じる]を押して終了してください。
 これでツールの設置は完了です。

空期报告事作成支援。	<u>ت</u> +10001+7	モインフトール	はわま! た			
	ノール/V9.01み止 1まわしいわして	.00412X11-77 / #:403	~~1.xU/La			
1701 9 WILLIAN LIMBUNG	1299990 C	V.C. 6				
Windows Undate 12.	VET Framework	の香車な軍新	があろかどうた	いを確認して	ください。	

## (3) インストールしたプログラムについて

インストールされた「定期報告書作成支援ツール」プログラムフォルダに格納 されているファイルは以下のとおりです。



ダウンロードしたファイル を解凍すると、左記のファイ ルが格納されたフォルダが ご利用のパソコンのプログ ラムフォルダに作成されま す。

<フォルダ内のファイルについて>
mst - 係数等の設定ファイルが格納されているフォルダです。
pophint - ポップやアイコンなどのファイルが格納されているフォルダです。
rdlx - 帳票の印刷に必要なフォルダです。 ※触らないで下さい

定期報告書作成支援ツール - アプリケーションの起動ファイルです。
(スタートメニューかショートカットから起動してください。)

※フォルダ内の上記以外のファイルもアプリケーションを動作させるために必要なファイル です。触らないでください。

## 定期報告書作成支援ツールの削除

本ツールを削除する場合はコントロールパネルの「プログラムのアンインストール」をご使用ください。

1. 定期報告書作成支援ツールをアンインストールします。

☑ プログラムと機能		- 🗆 X		
← → • ↑ 🖬 • רםאכב +	バネル > ブログラム > ブログラムと機能 🛛 🗸 ひ	م		
コントロール パネル ホーム	プログラムのアンインストールまたは変更			
インストールされた更新プログラムを 表示	プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選択して [アン クリックします。	インストール]、[変更]、または [修復] を		
Windows の機能の有効化または 無効化				
	整理 ▼ アンインストール 変更 修復	133 👻 🔇		
	名前 ^	発行元		
	SAP Crystal Reports runtime engine for .NET Framework (32-bit)	SAP		
	Skype for Business Web App Plug-in	Microsoft Corporation ST Microelectronics Trend Micro Inc.		
	ST Microelectronics 3 Axis Digital Accelerometer Solution			
	🧭 Trend Micro Apex Oneセキュリティエージェント			
	VMware Player	VMware, Inc.		
	❤ Windows PC 正常性チェック	Microsoft Corporation		
	😼 Windows Software Development Kit - Windows 10.0.22000.194	Microsoft Corporation		
	WinMerge 2.16.6.4 x64	Thingamahoochie Software		
	WinRAR 6.02 (64-bit)	win.rar GmbH		
	③ インテル(R) ワイヤレス Bluetooth(R)	Intel Corporation		
	🜃 インテル® シリアル Ю	Intel Corporation		
	¼ インテル® マネジメント・エンジン・コンポーネント	Intel Corporation		
	▲ クリップスタンプ ■ 定期報告書作成支援ツールv9.0	小林啓志 資源エネルギー庁		
	< c			
	資源エネルギー庁 製品パージョン: 9.0.0			
	サイス: 59.6 MB			

2. マイドキュメントの「定期報告書作成支援ツール」フォルダを削除して ください。

## 使い方(基本編)

入力から報告書完成までのフロー



## ※ オンライン申請による提出を推奨しています。

定期報告書はオンライン申請(電子申請)による提出ができます。オンライン申請により、経済産業局と事業者の皆様との内容確認に係る時間が短縮されるとともに、書類を 持参したり郵送したりする手間が省略できます。さらに、提出いただいた書類に不備な どがあった場合は、オンラインでの修正も可能となります。 事前準備(ツールを使用する前に)

(1)事業所ごとのエネルギー使用量等情報の収集・整理

本ツールでは、各事業所のエネルギーの使用量などを個別に入力する部分がある ため、本ツールで定期報告書を作成する際には、あらかじめ必要な情報を収集・整 理します。

#### あらかじめ収集・整理が必要な情報

- ▶ 設置しているすべての事業所の情報(名称等)
- ▶ 設置しているすべての事業所の主たる事業
- ▶ 設置しているすべての事業所の「エネルギーの使用と密接な関係をもつ値」
- ▶ 設置しているすべての事業所の報告年度の種類ごとのエネルギー使用量 等 (※電気の場合はどの電気事業者から供給を受けたかの情報も必要です)
  - ※「エネルギーの使用と密接な関係を持つ値」は、前年度に提出した定期報告内容を踏まえて収集・整理。

(※)本ツールでは、各事業所で役割分担してデータ入力などを行うことも可能です。

#### (2)前年度に提出した定期報告書(控え)

定期報告書は、報告日の前年度の実績等の報告が必要となりますが、<u>対前年度比の算</u> 出などに当たって、報告年度の前年度(前々年度)のデータが必要な箇所がありますの で、前年度に報告した定期報告書(の控え)をお手元にご用意ください。

また、「エネルギーの使用と密接な関係を持つ値」「エネルギーの使用に係る原単位」 など、<u>原則として前年度報告と同じ単位での報告が必要な部分についても、あわせて前</u> 年度に提出した定期報告内容の確認が必要です。

※1:当該年度に初めて定期報告書を提出する事業者は必要ありません。

※2:前回提出した定期報告書に訂正の必要が生じた場合は、提出先の経済産業局にご相談下さい。



## ツールの起動

(1) ツールの起動

本ツールをスタートメニューかショートカットから起動してください。 (※ダウンロード(導入)方法は3ページをご参照下さい。)

#### 定期報告書作成支援ツールを起動すると、以下の画面が表示されます。



## (2) ツールを使用する

#### ① 新規作成

初めて使用する場合は、「新規作成」を選択の 上、[作成開始]ボタンをクリックします。(入 力画面に移行します。)

#### ② 前回のつづき

本ツールで途中まで入力したデータがある場 合(前回ツール終了時に「入力を保存」で保存 している場合)、「前回のつづき」を選択し、 [作成開始]ボタンをクリックすると、当該デ ータが反映された状態で入力画面が表示され ます。

## ③ V3の保存用XML(事業者全体)からインポートして開く

旧バージョン(v3.0)ツールで作成した「保存 用XMLデータ」を使用する場合に選択します。 「V3の保存用XML(事業者全体)からインポ ートして開く」を選択の上、[作成開始]ボタ ンをクリックします。

ファイル参照画面でインポートするファイル を選択するとデータがインポートされます。 インポートできるファイルは、v3.0ツールで出 力した保存用XMLファイルのうち、

"事業者全体及び事業所のすべてのデータ" のみです。

※v3.Oよりも古いバージョンのツール(v2.O) で作成したデータはインポートできませんの で、ご注意ください。

#### ④ V4以降のXMLからインポートして開く

本ツールのV4.0以降のバージョンで作成した 「XMLデータ」を読み込んで表示する場合に選 択します。

「V4以降のXMLからインポートして開く」を 選択の上、[作成開始]ボタンをクリックしま す。フォルダ参照画面でインポートするファイ ルが格納されているフォルダを選択すると、フ ォルダ内の特定表および指定表の各ファイル のデータがインポートされます。



「V4 以降の XML からインポートして 開く」を選択すると、フォルダまたはフ ァイル参照画面が表示されます。

- 🗆 X 定期報告書作成支援ツール 定期報告書作成支援ツール v9.0 2021年度実績報告用 認定管理統括事業者等はこちら 必要な情報を3つのステップで入力し、定期報告書を自動作成。
 エネルギー使用量やCO2排出量は、自動で計算・集計します。
 ブレビュー機能やチェック機能で誤記入や記入漏れを防止します。 ○ 新規作成 適切な報告書作成・事務作業の低減をサポート! 前回のつづき ○ V3の保存用XML(事業者分 (本)からインポートして際( 国へ提出 ステップ1 「1.基本情報」 事業者、事業所の名称等を入力 V4比I協のX して開入(主) 定期報告書 XMLファイル ステップ2 「2、エネルギー使用量」 事業所ごとにエネルギー使 ステップ3 「3、チェックと記述 報告書に必要なその他の事 ◎ 新規作成 電子報告システムはこちら --厅 900 係数等設定情報の更新 💿 前回のつづき V3の保存用XML(事業者全 ◎ 体)からインポートして開く V4以降のXMLからインポート して開((\*1)



「V3の保存用 XML(事業者全体)から インポートして開く」を選択すると、 ファイル参照画面が表示されます。 インポートできるファイルは、本ツールで出力した、提出用XMLファイル、保存用XML ファイルの両方、またはエクセルツールで出力した提出用XMLファイルです。

(選択したファイルには、特定表1つが必須です。また、指定表のxmlファイルを選択しない場合、新規作成時と同等の空の事業所のみが表示されます。)

「提出用XMLデータ」からは、正確な入力データを再現できませんので、「提出用XML データ」を作成時にも「保存用XMLデータ」を別途保存しておき、修正の必要がある場 合は、「保存用XMLデータ」をインポートしてお使いください。

【留意事項】

1) <u>トップ画面からインポートできるV3のファイルは、「事業者全体のデータ」のみ</u> です。

その際、それまでの入力はすべて消去し、インポートしたデータを表示して画面が開きます。

2) <u>事業所毎のデータは、「基本情報入力」の</u> 「XMLから事業所インポート」にてイ ンポートできます。

その際、インポートできるのは、本ツ ールで出力した提出用XMLファイル、ま たは保存用XMLファイルのうち、事業所 毎のデータのみです。

基本情報入力	エネルギー使用量入力	その他の情報入力
提出年月日		
平成30年6月1日 🔲 🕈	事業者名: ※※※※	<ж
事業者登録	法人番号:	
****	本社住所: 郵便番号	
	都道府県	-
事業所ごと登録	(住所1	
* * * * *	住所2	
新規 複制 削除	, 特定-第1表(に記載する「	主たる事務所の所在地」が
* VMIもVC本業前(ハーサート	して機能している事務所の	D住所を記入してください。
7/mt/から申来/パインパイト	郵便番号	

各事業所のデータは「基本情報入力」の「X MLから事業所インポート」にて取り込むこ とが可能です。

(※) インポートデータについては「保存用データの出力」をご参照下さい。

注意!すでに入力がある状態で「新規作成」を選択し、[作成開始]ボタンを押すと、 それまでの入力をすべて消去して画面が開きます。

#### (2) ツールを使用する:認定管理統括事業者等の場合

ツール起動画面右下のリンク「認定管理統括事業者等はこちら」をクリックすることで起動 する認定管理統括事業者等向け画面では、次の3つのメニューがあります。

#### ① 新規作成

- ② 前回のつづき
- ③ V6以降のXMLからインポートして開く





- 0 X

各事業者間の関係性と事業者、工場ごとに提出が必要になる定期報告書の種類を下記に示します。



## ステップ1「情報入力」

「基本情報入力」

「基本情報入力」では、定期報告書の提出年月日、事業者情報(名称等)、設置して いるすべての事業所の登録を行います。

定期報告書作成支援ツー川

- (1) 「基本情報」の入力手順
- ① 提出年月日の入力

本ツールを起動して、最初の入力 画面「基本情報入力」が開いたら、 左カラムー番上の「提出年月日」 をクリックして、定期報告書の提 出年月日を選択します。(日付は 後から訂正が可能です。)

#### ② 事業者情報の入力

最初に表示される入力画面は、事業 者情報の入力です。右カラムの「事 業者名」欄に入力すると左カラムの 名称も変更されます。案内に沿って 必要事項を入力してください。

基本情報入力 エネルギー使用量入力 その他の情報入力 プレビュー 報告書出力 <u>21448</u> 6月 1日 事業者名: 株式会社テストAAA(新ツール)|(1002) 本某者空持 1234567890321 郵便番号 141 郵便錄号 141 - 0034 (半角入力) 都道府県 東京都 法人番号: 本社住所: 事業所ごと登録 住所1 品川区西五反田12−345■○▲ロビル 18 大阪絹2(2001) 住所2 特定-第1表は記載する「主たる事務所の所在地」が上記住所と異なる場合は、以下に実際に して機能している事務所の住所を記入してください。(例: 登記7弾上の本社とは異なる場合等 郵便振号 9999 – 8888 (半角入力) グリア 指定工場テスト事業所 (半角入力) 派編事業所 クリア 住所(都道府県から入力)東京都品川区西五反田A99-88-1 新規 複製 削除 XMLから事業所インポート 役職名 代表取締役社長 代表者: 商標又は商号(特定連鎖化事業者のみよ人): 特定事業者番号又は特定連鎖(1)業者番号(7桁): 左カラム (半角入力) ※経済産業局から通知された7桁の指定番号を入力 特定排出者番号(9桁) (半角入力)
 ※環境省HPで特定排出者番号を検索可能 右カラム 事業(日本標準産業分類組分類): 終了 入力して[Enter]キーを押し Tab を Tab 🖊 押すと次の欄に移ります。

郵便番号や特定事業者番号など、数値は半角で入力してください。 全角で入力してしまったら[Enter]を押す前に、キーボードの[F8]または[Ctrl+T]で半角変換します。 半角変換の後に、必ず[Enter]を押してください。

#### ③ 各事業所情報の入力

左カラムの「事業所ごと登録」で [新規]ボタンをクリックすると新規 事業所の入力欄が追加されます。 右カラムの「事業所名」欄に入力す ると左カラムの名称も変更されます。 右カラムが当該事業所の入力画面に なりますので、案内に沿って必要事 項を入力してください。

事業者が設置しているすべての事業 所の登録が必要です。



◆指定工場がない事業者は細分類番号ごとに任意の事業所名をつけて事業所を作成 する必要があります。

◆エネルギー管理指定工場等の場合は、A欄に加えてB欄の入力が必須です。

- ◆「事業者登録」「事業所ごと登録」のいずれも、入力途中で入力画面を切り替る ことが可能です。
- ◆「事業所ごと登録」で入力する「生産数量又は建物延床面積その他のエネルギー の使用と密接な関係をもつ値」の入力にあたっては、<u>あらかじめ「リスト作成」</u> <u>ダイアログで、使用する項目、単位を登録</u>します。

「リスト作成」ダイアログには、あ らかじめ「項目例」「単位例」が列 挙されていますので、これらを使用 する場合は、選択して[追加]ボタ ンをクリックします。

「項目例」「単位例」にない場合は、 「自由記述」欄に入力し、 [追加] ボタンをクリックすると登録項目又 は登録単位に追加されます。 使用しない登録項目、登録単位は、 選択して [削除] ボタンをクリック すると削除されます。

事業所を削除するには、該当する事業所 を選択(青色)して、[削除]ボタンを クリックします。

(※削除した事業所は、それまで入力し ていたデータがすべて消去されます のでご注意ください。)



「項目例」「単位例」にない場合は、自由記 述で任意に登録することが可能です。

基本情報入力	エネルギー使用量入力	その他の情報入力	プレビュー	報告書出力	
140 BD				入力を採荐	
2020年2月6日 🗊 *	エネルギー管理 谷事業所(工場・事業場	指定工場等の場合 )ことに、必ずA種・B種の両」	方を記入してください。		
業工〇〇口好会沈朝	エネルキー管理	指定工場等以外の事	事業所の場合		
「東州ごと登録 都岡工場	事業所ごとに AMを会会 ※エネルギー管理指定 日闇の事業所の郵便	22、してください(日間は起入) 1項に指定されていないがエネ) 番号、住所を起入してください。	不要)。  年~使用量が1500kil(原油	換算)以上となっている事業所は、	
U61%	ただし、以下の①~①の3 ①各事業所のエネルギー ①各事業所の王ネルギー ①各事業所の王ネルギー	&件をすべて満たす事業所につい 使用量がいずれら1500ki未満 訪、いずれら同じ産業分類(再 の使用と密報な関係を持つ値が	いては、まとめて登録可能です 原油換算) 分類番号) 5、いずれも同じ項目かつ同じ	τ. ≫#1Ω	
#7±	A				
新規 複製 新除 XML的ら事業所インポート	事業所名: 両回:	[場			
	。 前回定期報告から事業所 場合は空棚としてください	所の名称が変更になっている場合	は以下に記入してくださいく	変更がない	
	変更前名称:			ידניני	
	当該事業所の主たる事	堂( <u>日本標準是業分類組分</u> 算	•):		
	細分類番号: 2221	桃索種	分類番号(半角)を入力して「想 業の名称が表示されます。	は素」をクリックすると、	
	奉末の名称: 製鋼・	<b>勒闭则王始莱</b>			
	当該事業を所管する大臣	選択 農林	化强大臣 国土交通大臣 日	方面大臣	

◆各事業所のエネルギー使用量の入力情報から自動計算して特定第2表が作成され ます。

④入力を保存

入力が完了したら、画面右上の [入力を保存] ボタンで入力データを保存してく ださい。

[プレビュー] ボタンをクリックすると入力内容が確認できます。

#### (※この保存は、年度に関係なく常に上書きされます。前年度のデータを残しておき たい場合は、「報告書出力」画面左下の「保存用データの出力」機能をお使いく ださい。)

#### 認定管理統括事業者等の場合の基本情報の入力方法

認定管理統括事業者、管理関係事業者ごとに基本情報の入力を行います。各項目の入力方法 は、特定事業者の場合と同じであるため、13ページをご参照下さい。

#### ① 認定管理統括事業者情報の入力

事業者種別で「統括」を選択します。認定 管理統括事業者は1つだけ登録できます。 認定管理統括事業者の報告内容は、特定事 業者と同様です。

認定管理統括事業者単独で年間エネルギ ー使用量が1,500kl以上(原油換算)の場 合、認定表を報告する必要があります。こ の場合、事業者全体としての認定管理統括 事業者情報の登録に加えて、単独の認定管 理統括事業者を管理関係事業者とみなし てデータを登録する必要があります。

#### ② 管理関係事業者情報の入力

事業者種別で「関係」を選択します。管理関係事業者は、複数登録できます。 管理関係事業者の報告内容は、特定表の 一部(特定表1,2,10,11,12表に相当) になります。

管理関係事業者は、連携省エネに関する 報告の必要はありません。

事業者を追加するには、左メニューの[追加]ボタンをクリックし、事業者種別を選択します(すでに認定管理統括事業者が作成済みの場合、認定管理統括事業者を追加することはできません)。

基本情報入力	エネルギー使用量入力	その他の情報入力	プレビュー	報告書出力	?	
提出年月日	事業者種別↓ . ● 統括	〇関係		<u>১</u> গ	を保存	
2020年2月3日 🛛 🐨	事業者名: 株式会社	± 認定管理○△□工業				
事業者登録	法人番号: 1234567	7890321				
株式会社 認定管理のムロ工業	本社住所: 郵便醫号	164 - 0032	(半角入力)			
株式会社 認定管理〇ムロ工業	都道府県	東京都 ~				
管理関係ロロ工業	住所1 住所2	品川区〇〇				
新規	特定-第1表に記載する「 して機能している事務所の	・ 主たる事務所の所在地」が上記住 D住所を記入してください。(例:電	所と異なる場合は、以下( と記簿上の本社とは異なる	に実際(こ本社と 場合等)		
XMLから事業者インボート	郵便番号	-	(半角入力)	クリア		
事業所ごと登録	住所(都道府県から入力)					
高町工場	代表者: 後期名	代表取締役社長				
新規 複製 前隊	氏名	認定管理 太郎				
CONTRACTOR AND	商標又は商号(特定)	(顕化事業者のみ記入):				
XMLから事業所インボート						
XMLから申来用インボート	認定管理統括事業者	番号(7桁):				
XMLがら事業所インホート	認定管理統括事業者 1111113 株字地山本新号/045	番号(7桁): 3 (半角入力) ※経済産業局	から通知された7桁の指定者	时 时		
XMLがら事業用インボート	認定管理統括事業者 [111113] 特定排出者番号(9桁 [123456]	<ul> <li>              新号(7桁):</li></ul>	から通知された7桁の指定者 で特定接出者番号を検索可	转号を入力 [並		

2 定期報告書作成支援ツール				- 0	×
基本情報入力	エネルギー使用量入力 その他の	情報入力 プレビュー	報告書出力	?	
提出连 目白	<b>事業者種別:</b> ● 続括 ● 関係	•			
2020年2月3日	事業者名: 管理関係ロロ工業				
申未省立祭	法人番号: 1313131313131				
WNEN EREMODULA	本社住所: 郵便番号 220 都道府県 神奈川県	」 - 0000 (半角入力)			
株式会社 認定管理〇〇口工業	住所1 横浜市〇〇				
管理關係口口工業	住所2				
新規 削影	特定-第1表に記載する「主たる事務所 して機能している事務所の住所を記入し	の所在地」が上記住所と異なる場合は、」 ってください。(例:登記簿上の本社とは見	以下に実際に本社と 異なる場合等)		
XMLから事業者インボート	郵便番号	] - (半角入力)	クリア		
事業所ごと登録	住所(都道府県から入力)				
海岡工場	代表者: 役職名 取締役				
新規 複製 前際	氏名 管理関係	花子			
XMLから事業所インボート	商禮又は商号(特定連鎖化事業者	のみ記入):			
	認定管理統括事業者番号又は管理	関係事業者番号(7桁):			
	特定排出者番号(9桁):	<ul> <li>※経済産業局から通知された7桁の3</li> <li>(半角入力)</li> <li>※環境省HPで特定排出者番号をを</li> </ul>	皆定番号を入力 <u>8素可能</u>		
	当該事業者の主たる事業(日本標準	產業分類細分類 ):			

事業者を削除するには、該当する事業者を選択(青色)して、[削除]ボタンをクリックします。

(※削除した事業者は、それまで入力していたデータがすべて消去されますのでご注意ください。)

#### ③ 認定総括表の確認

認定管理統括事業者、管理関係事業者を作成すると、プレビュー機能で「認定総括表」を確認することができます。認定管理統括事業者を選択した状態で「プレビュー」をクリックし、 左メニューで「1表」をクリックします。表示されたプレビューの2ページで「認定-総括 表」を確認できます。



- (2) 各事業所情報の入力にあたっての注意点
  - ① <u>エネルギー管理指定工場等</u>については、それぞれの「指定-第1表~第10表」を作 成する必要があるため、<u>個別に登録</u>してください。

#### ② エネルギー管理指定工場等以外の事業所の場合

- ▶ 各事業所のエネルギー使用量がいずれも1,500kl未満(原油換算)
- > 各事業所の主たる事業が、いずれも同じ産業分類(細分類番号)
- > 各事業所のエネルギーの使用と密接な関係をもつ値が、いずれも同じ項目かつ同じ単位

#### 上記すべてを満たしているなら、複数事業所をまとめて登録することが可能です。





## 「事業者登録」入力画面 ②



## 「事業所ごと登録」入力画面 ①



#### 「事業所ごと登録」入力画面 ② <u>エネルギー管理指定工場等</u> の場合は、「A欄」に加え 定期報告書作成支援ツール <u>て「B欄」の入力が必須で</u> 基本情報入力 エネルギー使用量入力その他の情報入力 プレビュー す。 提出年月日 価値等、日本標準産業分類に決定方法に準拠します。 平成30年 6月 1日 🛛 🔍 🗸 生産数量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係を持つ値: 事業者登録 ※項目、単位については、「リスト作成」であらかじめ登録します 株式会社ABC リスト作成はこちらから リスト作成 項目 発電量 Ŧkw . di 事業所ごと登録 選択した項目の数量 60 \_\_\_\_\_\_ △△△工場 木更津発電所 B エネルキー管理指定工場等は下記も必ず記入してくたさい。 ..... 大阪第二丁場 **事業所住所:** 郵便番号 022 - 2000 (半角入力) 入力すると特定-第10表、指 都道府県 島根県 -住所1 松江市2220 定-第1表に出力されます。 複製 削除 住所2 事業所インポート \_\_\_\_\_ ..... エネルギー管理指定工場番号(7桁)と指定区分: ※経済産業省から通知された7桁の指定番号を記入(半角入力) 指定-8表の入力欄 ※平成22年4月以降に通知を受けた番号を記入してください。 8-1「1.専ら事務所」又は 2222222 ◎ 第1種 💿 第2種 8-2「2.工場」を選択します。 エネルギー管理指定工場番号を 入力すると指定表の出力対象と 職名 なります。 氏名 あああああああ 作成実務者(未選任の場合) (特定-第10表に出力) 免状番号/講習修了番号 222222 電話 22-222-2222 例)03-1234-5679 勤務先の代表番号ではなく、該当者に直接連絡がとれる電話番号を記入 FAX 例)03-1234-5679 メール <u>/</u>\_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ 終了 入力すると当該事業所の指 定-第1表に出力されます。

「エネルギー使用量入力」

「エネルギー使用量入力」では、登録した事業所のエネルギー使用量などを入力します。 (事業者全体のエネルギー使用量やCO2排出量は、入力内容を基に自動計算しますので 入力不要です。)

#### (1)「エネルギー使用量」入力の手順

① 事業所ごとのエネルギー使用量等の入力

「基本情報入力」が完了したら、画面 上部の「エネルギー使用量入力」をク リックしてください。エネルギー使用 量の入力画面が開きます。

左カラムには、基本情報で入力した事 業所がリストになっています。事業所 を選択(青色)し、エネルギー使用量 等を入力してください。

(入力が必要なのは各事業所のエネ ルギー使用量です。事業者全体のエネ ルギー使用量は、入力された情報をも とに自動集計されるため入力不要で す。)



「エネルギー使用量入力」をクリックする と、登録した事業所のエネルギー使用量等の 入力欄が表示されます。

数値の入力欄は、<u>半角数字で入力します</u>。また、<u>事業者全体で集計しますので、</u> <u>少量であっても小数点以下まで入力</u>してください。(自動計算・集計した結果は、 定期報告書上では小数第1位を四捨五入します。)



入力モードを半角にしてください。全角モードの場合、[Enter]キーを押さないと 確定せず入力が消去されます。

・都市ガスの使用量

「都市ガスの入力はこちらから」の文字列を入力すると、都市ガス供給事業者名 ごとに使用量を入力するダイアログが出ますので、必要事項を入力し「OK」をク リックしてください。

都市ガス供給事業者は、最大で65件まで入力可能です。

・その他の燃料(テナントの推計エネルギー含む)の使用量

「その他の燃料の入力はこちらから」および「その他の燃料でビルなどのテナントにおいてエネルギー使用量を推計した場合の入力はこちらから」の文字列をクリックすると、燃料ごとに使用量を入力するダイアログが出ますので、必要事項を入力し「OK」をクリックしてください。

・他人から供給を受けた電気(昼間買電・夜間買電・上記以外の買電)の使用量
 「昼間買電・夜間買電の入力はこちらから」および「上記以外の買電の入力はこちらから」の文字列をクリックすると、電気事業者ごとに使用量を入力するダイアログが出ますので、必要事項を入力し、「OK」をクリックしてください。

◆「昼間買電・夜間買電の入力 はこちらから」をクリックして 表示される「電気事業者買電入 カ」ダイアログでは、頭文字を プルダウンから選択して、表示 される電気事業者を絞り込むこ とができます。

電気事業	建者買電入力								
設当する電力会社の欄に買電量(単位千Wh)を入力してください。(半角入力) (昼間買電:6時から22時まで、夜間買電:22時から翌日6時まで) ※ 該当するノニューがない場合は狭生から等者値のシニューを選んでください。( <u>浅季と参考値についての説明にたら)</u> ※ 一所送記官事業者は、題場(純裕や病奈容解性後絶の場合のの友便用してください。 ※ 沖縄電力会社から供給を受けている場合は、沖縄電力の力率測定時間に即して入力することが可能 ※ 半角で入力になたざめ、空骨なりなに場合自動集計されません。 電気事業者等間数字 /									
電気事業者名	昼間買電量 (手kWh)	うち夏期・冬期における 電気需要平準化時間帯	夜間買電量 (千kWh)	^					
関西電力(株)(メニューA)				=					
関西電力(株)(メニューB)									
関西電力(株)(メニューC)									
関西電力(株)(メニューD(残差))									
関西電力(株)((参考値)事業者全体)									
九州電力(株)(メニューA)									
九州電力(株)(メニューB(残差))									
九州電力(株)((参考値)事業者全体)									
加賀市総合サービス(株)									
香川電力(株)(メニューA)				~					
のK この入力値はいったん閉じて	キャンセル から開けた場合もタ	しています。							

入力が完了したら、 [プレビュー] ボタンを押してください。 定期報告書のプレビューが表示されます。

注意!「基本情報入力」欄で登録していた事業所を削除すると、当該事業所のエネル <u>ギー使用量等の入力データも消去されますのでご注意ください。</u>

#### ② 熱や電気を他者に供給している場合

入力を行う事業所が

- 熱や自家発電の項目で「販売した副生エネルギーの量」がある場合
- ▶ 「電気事業用の発電所(細分類番号3311)」の場合
- ▶ 「熱供給事業用の熱供給施設(細分類番号3511)」の場合

上記のいずれかに該当する場合は、他人に供給した電気又は熱の供給に係るエネルギー起源CO2排出量を、当該事業所のCO2排出量から控除する必要があるため、 当該排出量を算定するためのダイアログが組み込まれています。 控除する排出量の算定式については次ページをご参照下さい。本ツールでは入力され た燃料等を法定の排出係数または実測等に基づく排出係数により自動計算していま す。

熱や自家発電に係る「販売した副生エ ネルギー量」の欄はグレーになっています。 当該欄をクリックすると入力ダイア ログが表示されます。

- ◆ダイアログが表示されたら、販売した 副生エネルギー量のほか、当該副生エ ネルギー量に係るエネルギー起源CO2 排出量を算定するために必要な項目を 入力し、[下記の情報から自動計算]ボ タンを押してください。
- ◆[下記の情報から自動計算]ボタンを 押すと、当該副生エネルギー量に係 るエネルギー起源CO2排出量算定の ための排出係数及び調整後排出係数 が自動計算され表示されます。 排出係数、調整後排出係数は手入力 も可能です。

当該事業所の主たる事業が「電気事業 用の発電所(細分類番号3311)」又は「熱 供給事業用の熱供給施設(細分類番号 3511)」の場合は、「エネルギー使用量入 力」の一番下の[入力する]ボタンが入力 可能となります。[入力する]をクリックす ると、ダイアログが表示されます。



		定期報告書作成支援ツ-	ール		
基本情報入力	エネルギー使用量入力	その他の情報入力	プレビュー	報告書出力	?
全録済み事業所リスト					
△△△工場	その他の燃料の入力はこち	586	1		-
木変津発電	その他の燃料でビル等のテナ 熱(蒸気、濃水/冷水の後)	いたにおいてエネルギー使用量を 値係数を変更する場合は検内()	を推計した場合の入 こ入力してください。)	わはこちらから	- 購入しか
+75 W - T #		Principle of a Daring to	換算係数		東利用料の量
/00095-1/0	産業用5	覧気 GJ	1.02	GJ	GJ
阿莱莱叶	産業用以外の5	NU GJ	1.36	GJ	GJ
	1 2	B水 GJ	1.36	GJ	GJ
	;	俞水 GJ	1.36	GJ	GJ
	熱におけるCO2排出係数の	<u>&gt;変更はこちら</u>	tλ	力は箱をりりゅう	
	金融資源:彼爾實施の人2	IGC5696 URECOMP	S 7001-010 RE2525		
	요명)	9 <b>1</b> = 10	Alb		
	うち夏	期・冬期における電気需要平準	化時間帯		
		手は	Ah		
	夜間)	11 Th	Ah		
	上記以外の質電の入力は、	5846			
	上記以外の1	tte fin	Ah		
	自家	fki fki	Ah TA	手kWh 力は箱をクリック	
	主たる事業が発電所または	は熱供給業の場合、販売した熱	量等の人材が影響で	9. <b>**</b> *	
			- <b>1</b> - E	入力する	
¢7				*******	

表示されたダイアログでは、排出量から控除する温室効果ガス排出量等を計算するため、電 気又は熱を発生させるために使用した燃料等の使用量を入力します。





電気事業者、熱供給事業者の場合のダイアログ。

#### ③ 購入した未利用熱がある場合

他事業者へ提供しなければ、省エネ法の判断基準に従って取組を行っても発生を抑制できず、廃棄することが見込まれる熱を計上してください。

※別途未利用熱であることを証明する書類として『未利用熱に関する覚書』を定期報告書に添付してください。

「購入した未利用熱の量」の欄に 直接未利用熱の量を入力します。

基本情報入力           登徐涛动事変所以入ト           ΔΔΔ工場	<b>エネルギー使用量入力</b>	その他の情報入力	] 3	WZ1-	報告書出力	?			
登録済み事薬所リスト ムムム工場		9X							
△△△I場	10×1- 1-1/9	22							
	1-102	11	с						
	コークス使	-n	t ∓m3						
木更津発電	コ <i>20</i> 07. 高炉	#i2	fm3		1.00 fm3				
大阪第二工場	転炉	57	fm3		1m3				
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	都市ガスの入力はこちらから		fm3		∓m3				
BLI PART	その他の燃料の入力はこちら	m5							
	その他の燃料でビル等のテナ	ントにおいてエネルギー使用	目量を推計した	場合の入力はこち	<u>646</u>				
	熱(蒸気、温水/冷水の操算係数を変更する場合は枠内に入力してください。) 購入した								
	産業用が	読	GJ 1.02	39X	GJ 🔸		<b>*</b> @		
	産業用以外の券	一 一 元	GJ 136		GU 🥇 🛛		] G.		
	3	link	GJ 1.36		ເມ 📜 👔		G		
	7	ank	GJ 1.36		GU 🍾 [		j g		
	<u>熱におけるCO2排出係数の</u>	変更はこちら data ta character (una la cata)	170 Marca 101	1入力は縮減 (************************************	£0090	*****	•*		
	金印度地・松印度地の人工	42-55/15 (UANLA)	小野菜:香(2)道) - ポールル	102-001101					
	40 a ( 10 -	(16)	TRMU						
	うち夏	明・冬期における電気需要	平準化時間	ŧ,					
		-	⊤k₩h						
	夜間算	(मः	Ŧk₩h						
	上記以外の質電の入力はこ	5505							
終了									

#### ④ 実測に基づいた CO2 排出係数を使用する場合

法定による CO2 排出係数から、実測に基づいた CO2 排出係数へ変更する場合は、 CO2 排出係数管理画面から変更します。

「熱における CO2 排出係数の変更はこち ら」のリンクをクリックすると入力ダイア ログが表示されます。

◆ダイアログが表示されたら、変更したい 排出係数を変更後、[OK]ボタンを押下して ください。変更した結果は特定第12表及 び指定10表に反映されます。

※排出係数を変更した場合は、特定第12 表-5 及び指定第10表-4 を記入して下 さい。



#### ⑤ 使用している電気事業者が電気事業者リストにない場合

他人から供給を受けた電気(昼間買電・夜間買電・上記以外の買電)の使用を入力するにあたり、環境省から提供される電気事業者別排出係数一覧 (<u>https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc</u>)にある電気事業者が電気事業者リストにない場合、電気事業者追加画面から必要な電気事業者を追加して下さい。

◆「リストにない事業者の追加はこちらから」の文字列をクリックしてください。電気事業 者追加のダイアログが表示されます。



◆追加した事業者を削除する場合は任意の

電気事業者を選択した後[テーブルから削除]ボタンを押下してください。

## 「エネルギー使用量」入力画面



### 「その他の情報入力」

「その他の情報入力」では、「基本情報入力」及び「エネルギー使用量入力」で入力し た項目以外に必要な項目を入力します。あわせて定期報告書の記入漏れや記入ミスがな いかを確認します。

## (1)「その他の情報」入力の手順

#### ① 提出先の登録

「基本情報入力」及び「エネルギー使 用量入力」が完了したら、画面上部の 「その他の情報入力」をクリックして ください。

最初に、左カラムの最上段の提出先登録」が開きます。各地方経済産業局はリストから選択、その他の事業所管省庁の場合は必要に応じて入力し、[追加]ボタンを押します。



「その他の情報入力」の「提出先登録」で、定期 報告書の提出先(複数ある場合はすべて)を登録 します。

#### ② 定期報告書各表の確認・追加入力

左カラムの「特定」に並んでいる 1表~12表は、それぞれ「特定-第1表~第12表」を、「指定」 に並んでいる1表~10表は、それ ぞれ「指定-第1表~第10表」を 指します。

赤色の表番号のボタンはチェック や追加の記述が必要です。クリッ クして開き入力してください。入 力が完了すれば、表番号は黒に変 わります。(再チェックボタンで 再確認)



赤色の番号は追加入力・確認が必要です。(入力が 完了しないと定期報告書として出力できませんの でご注意下さい。)

<u>注意!対前年度比など、前回の定期報告を入力する部分がありますので、前回提出し</u> た定期報告書(控)をご確認下さい。

### 「提出先登録」入力画面



<u>提出先を登録しないと定期報告書を出力できません</u>。必ず登録してください。 定期報告書は、本画面で選択した提出先ごとのフォルダにわかれて出力され、 登録した提出先名を、表紙に自動表示します。正しい提出先名で登録してください。

### 「特定-第1表」入力画面



#### 「特定-第2表」入力画面



※管理関係事業者の場合、上記画面に相当する「認定-第2表」画面に必要な情報を入力して下さい。

「特定-第2表」連携省エネ報告の入力は連携省エネを実施した事業者のみ入力します(基本情報入力画面にて、連携省エネ措置による省エネ効果の報告で「はい」選択をします)。 連携省エネルギー措置を踏まえたエネルギーの使用量等の入力

連携省エネルギー措	間を踏まえたエネルコ	ド−の使用量等					「特定-第2表」画面下部の「連携省エ
							ネ報告を実施する事業者はこちら」リ
エネルギ	ギーの種類		換算係数	単位	エネルギー使用量(数値)		ンクをクリックすると、この画面が表
		全体				^	
<b>三</b>	******			GJ/∓m3			小でればより。
	同がカス	連携分②		GJ/∓m3			 
		連携分③		GJ/∓m3			
		全体					
ā	*6+17	連携分①		GJ/∓m3			
¥.A.	NENY	連携分②		GJ/∓m3			連携省エネを実施したエネルギーについ
		連携分③		GJ/∓m3			て、エネルギー種類ごとの連携分エネル
		全体					
その他の	キャナギョ	連携分①		GJ/∓m3			
燃料	都市力人	連携分②		GJ/∓m3			の人力は、エネルキー種類ことに最大3
		連携分③		GJ/∓m3			行まで入力可能です。
		全体			2200		
~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	田茨气	連携分①	1.02	GJ	800		
/生示	C/11/maxy	連携分②		GJ			
		連携分③		GJ			
		全体					
<b>帝業</b> 田	以外の茨気	連携分①		GJ			
71.587113	807107778.84	連携分②		GJ		~	前年度の連携有工不措直を踏まえた工
前年周	度の連携省エネルキ	一措置を踏ま	えた主ネルギ	一使用量	(原油換算kl)(※半角入力	)	ネルキー使用量、およびエネルキー使
							用量のうち連携分(原油換算kl単位)
÷	、 、 、 、 、 、 、 + + 中 四 ナ ロ 、 、 、 ・ ・ ・ ロ 、 、 ・ ・ ロ ・ い 、 ・ ・ ロ ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の の ・ の の の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の の ・ の の の の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の の の ・ の の の の ・ の の の の の の の の の の の の の	** ** * * * *		-+.+++/	(医油粉) () () () () () () () () () () () () ()		を入力します。
11年度の連携者	コイルキー措置を改	省まえた上不ル	キー使用量・	つり連携方	(原油換算kD(※千角人力	2	
	OK			キャンセ	1L		
	この入力値は	いったん閉じて	から開けた場	合も残って	います。		

## 連携省エネルギー措置の実績の入力

									-	
男務省エイルモー措直の実績									「将疋-弗2衣」画面下部の	
(1)連携省エネルギー措置に係るエネルギー使用量の合計と省エネ効果										「連携省エネルギー措置の
										実績」リンクをクリックす
										ると、この画面が表示され
										ます。
1										
(2)連携省エネルギー措置に関	して使用した	をこととされるこ	[ネルギー使	用量の算出の	0方法					
(3)連携省エネルギー措置に関	して使用し	たこととされるこ	Eネルギー使	用量等						
			連携省エネ	ルギー措置	浦携省エス	ことし推測	連携省エネ	ルギー措置		
エネルギーの種類	換算係数		に係る実際 一使	約エネルギ 用量	ネルギーに係る換算係数 れるエネルギー使用量					
	米斤(古	留待	*灯(店	勅具の1	彩店	黑谷	彩荷	勅具の」		
	#X.(U									エネルギーの種類ごとに
産業用蒸気	1.02	GJ/GJ	1200	1224	1.02	GJ/GJ	800	816		合算した連携省エネ措置
										を踏まえたエネルギー使
										用量等を入力します。
										L
							1			
	-	)K			キャンセル					
					32					

## 「特定-第3表」入力画面



※管理関係事業者の場合、上記画面に相当する「特定-第3表(データ確認用)」画面で必要な情報を入力して下さい。

※報告書出力時に事業者全体のエネルギー量と事業分類ごとのエネルギー量の合計値が一 致しない場合がありますが、四捨五入での範囲内で誤差が生じる場合は問題ありません。

「特定-第4表」入力画	J面					1
🧱 定期報告書作成支援ツール					- 🗆 X	
基本情報入力	エネルギー使用量入力	その他の情報入力	プレビュー	報告書出力	?	
					力を保存	
提出先登録	特定-第4表					
特定	争業者の過去5年度間の エネルギー使用量に係 電気需要平準化評価	) る原単位及び対前年度比と ・原単位及び対前年度比 な	を入力します。			
1表         2表         3表           4表         5表         6表	<ul> <li>(※1) これまでの入力内</li> <li>(※2) 前年度(に定期報</li> <li>(※3) 入力可能な欄(±)</li> </ul>	9容をもとに当該年度の数値を自1 告を提出している事業者は報告し すべて記入してください。(事業者	助計算します。 た数値を入力してください。 全体で「エネルギーの使用と	(記入のヒント) ·密接な関係を持つ値」		
· 表 8表 9表	が複数ある場合( (※4)入力する「年度」 (※5)半角入力してくだ	は、対前年度比の部分のみ入力」 にご注意ください。 さい。原単位は、提出書類では有	します。)入力できない部分( 育効数字4桁に丸めて表示し	は空欄にしてください。 ます。	初めて定期報告る	をする場合や事業
10 50 11 50 12 50	今回、初めて定期報告す チェックを入れてください。	る場合など、下記欄(白色部分)	)が入力できないときは、空	欄にして、以下	者全体の原単位の	の入力が難しい場
指定 (事業所名を選択) △△△工場	□ 提出初年度のため □「対前年度比」のテ 	、前年度の「エネルギーの使用に データは無し	係る原単位」、「電気需要平	平準化評価原単位」、	古なとは下傾に、 す。	r yy entra
連携省エネ報告を実施する事業者	20	015年度 2016年度 2017年度 2015年度 2016年月	2018年度 2019年度 度 2017年度 2018	年度 2019年度		
は、こちらの欄に年度ごとの連携	エネルギーの使用に係る原対前年	見単位 ■度比	()	( <u>*1</u> ) ( <u>*1</u> ) ( <u>*1</u> )	特定-第4表で	は、事業者の過
省エネ指直を踏まえた原単位の値 を記入してください。				対前年度比自動計算	去5年度間の「 用に係る原単位	エネルギーの使 1」および「電気
修正後、下の市外を押してください。	20 電気需要平準化評価原	15年度 2016年度 2017年度 単位	2018年度 2019年度	F度 019年度 (※1) (※1)	需要平準化評価	i原単位」の変化 オー(光該年度
<mark></mark>	- <b>1</b> 11	-		》前年度比自動計算	の値は自動計算	(当該中度 〔しています。〕
					入力する欄の「 ください。	年度」にご注意
終了						

※管理関係事業者の場合、上記画面に相当する「特定-第4表(データ確認用)」画面で必要な情報を入力して下さい。

※エネルギー使用量と密接な関係のある値の名称と単位が事業者全体で1種類の場合は、特定3表の値を入力すると前年度の原単位の値は自動計算されます。
特定-第4表の入力で、原単位が改善できなかった場合に、その理由を入力 してください。(入力が不要な欄はグレー表示されます)

20 定期報告書作成支援ツール		CYTERED	And a local division of the			
基本情報入力	エネルギー使用量入力	その他の情報入力	プレビュー	報告書出力	?	
				7.7	老保存	
提出先登録	特定-第5表					
literature and the second seco	現在、特定一第4表に入力	なれている内容で自動計算した結				
符定 1 表 2 表 3 表	(イ) 事業者の過去5年度 (ロ) 事業者のエネルギーの	間のエイルキーの使用に係る原単位が前年度に比	12が年半均1%以上以善 、べ改善できなかった場合	(きんかった場合		
4表 5表 6表	<ul> <li>(ハ)事業者の過去5年度</li> <li>(ニ)事業者の電気需要<sup>3</sup></li> </ul>	『間の電気需要平準化評価原単イ 平準化評価原単位が前年度に比/	立が年平均1%以上改善う で改善できなかった場合	できなかった場合		
7表 8表 9表	の赤字の項目に該当して	いますので、該当する欄に理由を入	、力してください。			
10表 11表 12表					「エネルギーの使用に係る原単位」	が
指定 (事業所名を選択) △△△工場 マ	(わめ理由			/	改善できなかった場合は	
					(イ)、(ロ)に理由を入力します。	<b>,</b>
1表 2表 3表					入力に当たっては、「記入のヒント	-L
4表 5表 6表					をこ参照くたさい。	
7表 8表 9表						
10表	(口)の理由			I	E	
赤字の表にはエラーがあります。						
修正後、下の木外を押してください	•					
サナエック						
	(77)の理由				「電気需要平準化評価原単位」が改	<b></b>
					ぐさなかつた场合は (ハ) (二)に理由を入力します	-
					入力に当たっては、「記入のヒン	。 ト」
					をご参照ください。	
	(-) 6 TH -					
	(二)の理由					
終了						

### ◆(イ)、(ハ)への入力が必要なのは・・・

過去5年度間の原単位が年平均1パーセント以上改善できなかった場合で、 特定-第4表の5年度間の平均原単位変化が99.0%を超えた場合が該当します。

### ◆(□)、(二)への入力が必要なのは・・・

原単位が前年度に比べ改善できなかった場合で、特定-第4表の当該年度における対前年度比が 100.0%以上の場合が該当します。

# 「特定-第6表」入力画面

72 84	定期	報告書作成支援ツール		_	
基本情報入力	エネルギー使用量入力 その	他の情報入力 プレビュ	ー報告書出ナ	כ <mark>?</mark>	]
				入力を保存	
提出先登録	特定-第6表				
特定	該当する事業について、ペンチマー 実施していない事業の欄は空棚に	ク指標の状況を入力します。 してください。			
1表 2表 3表	エネルギー使用量は、対象事業ご ベンチマーク指標の見込みには、昨 当該ベンチマーク指標の見込みを。	とに原油換算kiで人力します。 昨度以前で直近に提出した中長期計画 入力します。	書に記載した、		
4表 5表 6表	<ul> <li>達成率には以下の計算式で自動]</li> <li>達成率 = (0-2)/(0-3)</li> <li>達成率の計算式の()の(3)は</li> </ul>	計算された値が表示されます。 リティカカキす。			
7表 8表 9装	①は本報告の報告対象年度の ②は本報告の報告対象年度の	が生度のペンチマーク指標の値 でとチマーク指標の値			
10 表 11 表 12 表	本報告の報告対象年度のべい	ルビー長期計画者に記載した。 テマーク指標の見込み			=
指定(事業所名を選択)	目標年度における目標値には、中 ベンチマーク指標の見込みを入力し 対象事業のエネルギー使用量と報	長期計画書と同様に、目標年度における ます。 浩年度のバンチマーク指標の状況のどち	5		
	らかが入力されますと、目標年度に 必要に応じて修正してください。	おける目標値が自動入力されますので、			
1表 2表 3表	区分 対象となる事業の名称	対象事業のエネルギー使用量 (原油換算kl)	ベンチマーク指標の状況 (2017年度)	単位	パンチマーク (2018
4表 5表 6表	1A 高炉による製鉄業	101	]	] kl∕t	
/衣 8衣 9衣	1B 電炉による普通鋼製造業 10 電炉による特殊鋼製造業	102	] [	kl7	特定-第6表では、ベンチマーク指
10.35	2 電力供給業 A指標	104	] [		標の状況について入力します。
エラーはありません。	B指標			_ ] %	対象事業を行っている事業者は、
TT-ub	3 セメント製造業	106	]	MJ/t	「基本情報入力」の事業者登録の
<b>117190</b>	4A 洋紙製造業	107	]	MJ/t	設問「ベンチマーク指標の状況を
	4B 板紙製造業	108	]	MJ/t	報告する事業を行っていますか」
		109		]	に「はい」のチェックを入れてく
	6A 石油化学糸基礎製品製造	〕 第 110	] [	]GJ/t ]⊖J/t	ださい。当該入力欄が表示されま
		110	] [	ຼເທ ເພດສະຫ	
		112	] [	] KWWDDDD ]	とう ちちをつかった パング
	8 ホテル来				
終了		8			度~4年度前)、対家事業のエネ
					ルギー使用量、ベンチマーク指標
					の見込み及び目標年度における目
					標値について、入力してください。
					対象事業のエネルギー使用量と報
					告年度のベンチマーク指標の状況
					のどちらかが入力されますと、目
					標年度における目標値が自動で入
					力されますので、必要に応じて修
					正してください。

# 「特定-第7表」

Res.		定期報告書作成支援ツー	ル			×		
基本情報入力	エネルギー使用量入力	その他の情報入力	プレビュー	報告書出力	?			
提出先登録       特定       1表     2表     3表       4表     5表     6表       10表     11表     12表       10表     11表     12表       12     (事業所名を選択)       △△△工場     ✓       11表     2表     3表       4表     5表     6表       7表     8表     9表       10表     5表     6表	特定-第7表 * 学校基準の(な分子): 一般 (ペンチマーフの)対象事業 ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマーフの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチマーク)対象事業 (ペンチマークの)対象事業 (ペンチャークの) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク) (ペンチャーク	新振の高山に当なり、根拠ななる構 所は、・・・     「     「     「     「     「     「     「     「     「     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     」     「     」     」     「     」     」     「     」     」     「     」     」     「     」     」     「     」     」     」     「     」     」     「     」     」     」     「     」     」     」     」     「     」     」     」     」     」     「     」     」     「     」     」     」     「     」     」     」     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     、     」     、     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     、     」     、     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     「     」     」     」     「     」     「     」     」     」     」     」      」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     「     」     「     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」      」     」     」     」      」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」     」	報を記入してください。 係数を用いる場合には、補 等ること。 皆は、当該本事業における再と で、アンマープを確の考试 に、ペンチマープを確の考试 に、ペンチマープを確のです。 たいまたの様式で入いた。 たい現定する「特殊な」ネ らには、当該エネルギー(更好	スプ 正前のペンチマーク指 主可能エネルギーの使 に、当該使用率に応じたペ 社に当たり用いた面積 ギー使用量力な移転な 小学一使用量力な移転な 小学一使用量力及び特 料量及び使用面積を記		特入出力対「設報にだす、おたちず業忙くるい。	7表では、特定-第€ マンチマーク指標 り、根拠となる情幸 。 きを行っている事業 情報入力」の事業者 シチマーク指標のも う事業を行っていま 」のチェックを入れ 当該入力欄が表示さ した。	,のみを 者登代す いたで ううろう はのを しいかい しんしょう はいうしん いのを しくま
エラーはありません。 再チェック 終了	判断基準のペンチマーカの (※1)代表的な記載項目 (※2)記入例:ペンチマ 基準ペン く未遂 (ペンチマークの対象事業	D状況に関し、参考となる情報を記 目: ペンチマークの対象事業所、差 ークの対象事業所は、高岡工場、 ・ チマークとの差は、0.143-0.1848= 型由>	入してください。 (準ペンチマークとの差、未述 仙台工場。 (▲0.0418 朝時したことや王永小市・分析	<b>産理由</b> 南が悪化いたため₀・・・・・	 	序定-第6 -ク指標。 ○情報をノ	表で入力したベン <sup>:</sup> の状況に関し、参考 入力します。	チマ とな

T.	定期報告書作	■成支援ツール		_ <b>D</b> X	
基本情報入力	エネルギー使用量入力 その他の情報	<b>3入力</b> プレビュー	報告書出力	?	
			入力を	保存	
提出先登録       特定       1表     2表     3表       4表     5表     6表       7表     8表     9表       10表     11表     12表       指定     (事業所名を選択)       △△△工場     >	●品種少量生産により加熱 「ペンチマークの対象事業所は、・・・ 「電力供給業のペンパスマーク指標の算出に関い 発電方式 石炭による火力発電 可燃性天然ガス及び都市ガスによる火力。	カロエエ程が増加したことやエネ 、参考となる情報除起入してくだ 発電効率(%) 100000 3223	ルギー効率が悪化したため。 メハ 火力発電量に占める発電 量比率(%) 2222 444	<ul> <li>電力供給業の の算出に関し</li> <li>カレます</li> </ul>	ベンチマーク指標 、参考となる情報を
1表         2表         3表           4表         5表         6表           7表         8表         9表           10表	「かねことのいのがなどのかがたくなくクリー 石油をの他の燃料による火力発電 ベンチマーク指標の育出に用いた発電設備 電力供給業のペンチマーク指標の向上に閉じ ①電力供給業のペンチマーク指標の向上に閉じ 記入してください。	555 第 : 登録はこちらから て共同で実施した措置に関し、考 義者同士で、ペンチマーク指標の	666 666 参考となる情報を記入してください。 向上に向けた共同取組を実施している		
<ul> <li>エラ はのみとか。</li> <li>再チェック</li> <li>電力供給業のベンチマー</li> <li>の向上に関して共同で実</li> <li>#第に即し、会考したるが</li> </ul>		容、共同する相手などを記入し		<ul> <li>ベンチマーク:</li> <li>た発電設備を</li> <li>ちらをクリッ</li> <li>録画面を表示</li> <li>操作手順は次</li> <li>ンチマーク指</li> </ul>	指標の算出に用い 登録する場合はこ クし、設備名称登 します。 ページ以降の「ベ 標の算出に用いた
カします。				発電設備の登録	録」を参照して下

# ベンチマーク指標の算出に用いた発電設備の登録

設備名称登録	設備名称登録	1
設備の名称を入力してください。 (設備名称の入力→「テーブルに追加」→「OK」ボタンの クリックで、設備情報の入力構が追加されます。) ペンチマーフ指標の算出設備 テーブルに追加 タ備名 タ備名 タのK キャンセル すべてクリア こは入力値はいったん閉じてから開けた場合も残っています。 設備の名称を入力し、「テーブルに追加」 を押下します。	設備の名称を入力してください。 (設備名称の入力→「テーブルに追加」→「OK」ボタンの クリックで、設備情報の入力補が追加されます。)	Kを押下し

定期報告書作成支援ツール					
基本情報入力	エネルギー使用量入力	その他の情報入力	プレビュー	報告書出力	
基本情報入力 提出先登録 符定 1表 2表 3表 4表 5表 6表 7表 8表 9表 10表 11表 12表	エネルギー使用量入力 ペンチマーク指標の算出 燃料種ご の熱量 いドイオマ	その他の情報入力 出に用いた発電設備 : 登録 設備の名称 /℃チマーク指標の との基本情報 の燃料種名。 構成比(%)。 助得料度産国 スのみ記入))	プレビュー はこちらから 道出設備	報告書出力 入力を保存	
指定 (事業所名を選択) △△△工場 ・ 1表 2表 3表 4表 5表 6表 7表 8表 9表 10表	設備から得られた電気の 設備から得られた熱のコン 熱として活用 設備に投入したエネ 雪力(備に投入したエネ	DTネルギー量 (千km) (ナkm) た量(GJ) シれを量(GJ) 設備に投入した副 設備に 設備に 25000000000000000000000000000000000000	生物のエネルギー量 注物のエネルギー量 おしたバイオマスの エネルギー量(GJ) した世界(1月) 参考・たる	Z (45805 £2) 3.1 7/2/2/1	ш
詳細項目の入力欄が表示さ で、各項目を入力して下さ	もノルボロ赤のクライイン 「ペーニコーク」が標の工場( きれるの きい。	7日示の1911日第10日大回じ美加 1関して	2070181 <u>8</u> 10,1370,13767436		
終了					iii.





# ① タブ区切りテキストファイルの作成手順



# ② 新設した発電用設備の登録

設備名称登録	設備名称登録	
設備の名称を入力してください。 (設備る名称の入力→「テーブルに追加」→「OK」ボタンの クリックで、設備(情報の入力機が追加されます。) 新規の設備名称 テーブルに追加 皮備名 OK キャンセル すべてクリア こく入力値はいったん閉じてから開けた場合も残っています。 設備の名称を入力し、「テーブルに追加」 を押下します。	設備の名称を入力してください。 (設備名称の入力→「テーブルに追加」→「OK」ボタンの クリックで、設備情報の入力機が追加されます。) アーブルに追加 アーブルに追加 アーブルに追加された後にOKを打 ます。	甲下し
		,,

	入力を保有	
提出先登録	新設した発電用設備: 登録はこちらから	
定 1表 2表 3表 4表 5表 6表 7表 8表 9表 10表 11表 12表	該備の名称	
定 (事業所名を選択) △△△工場 ▼ 1表 2表 3表 4表 5表 6表 7表 8表 9表	設備容量(kW) 燃料種ごとの基本情報 (①燃料種名、 ②年間使用量、 ③熱量構成比(%)、 ④原料原産国 (パイオマス燃料のみ記入))	
10 表 ラーはありません。 再チェック		
	エネルギー量(GJ) 「 発電専用設備の新設に当たっての 指置の通用に関する配慮事項	

# ③ バイオマス混焼の発電用設備の登録

設備名称登録	設備名称登録
<ul> <li>設備の名称を入力してください。         <ul> <li>(設備名称の入力・「テーブルに追加」→「OK」ボタンの クリックで、設備情報の入力欄が追加されます。)</li> <li>パイオマス設備</li> <li>テーブルに追加</li> <li>アーブルに追加</li> <li>アーブルに追加</li> <li>アーブル応衛順除</li> <li>OK キャンセル すべてクリア</li> <li>この入力値はいったん閉じてから開けた場合も残っています。</li> <li>設備の名称を入力し、「テーブルに追加」 を押下します。</li> </ul> </li> </ul>	設備の名称を入力してください。 (没備名称の入力→「テーブルに追加」→「OK」ボタンの クリックで、設備情報の入力欄が追加されます。)       アーブルに追加       アーブルに追加       アーブルに追加       マーブルのら開いたっぱってクリア この入力値はいって、た間いてから開いた場合も残っています。       テーブルに追加された後にOKを押下し ます。





※管理関係事業者の場合、上記画面に相当する「認定-第3表」画面で表示された指定工場 の内容を確認して下さい。なお、認定管理統括事業者に、指定工場を所属させることは できません(認定管理統括事業者の特定-第10表画面では、指定工場は表示されません)。 認定管理統括事業者に指定工場を所属させる必要がある場合、認定管理統括事業者を管 理関係事業者とみなし、別途登録してください。

### 「特定-第11表」入力画面



※管理関係事業者の場合、上記画面に相当する「認定-第4表」画面で表示された未指定工 場の内容を確認して下さい。なお、認定管理統括事業者に、未指定工場を所属させるこ とはできません(認定管理統括事業者の特定-第11表画面では、未指定工場は表示され ません)。認定管理統括事業者に未指定工場を所属させる必要がある場合、認定管理統 括事業者を管理関係事業者とみなし、別途登録してください。



# ※特定-第12表1、2のエネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量は、 事業所毎に入力したエネルギー使用量より自動計算するため入力は不要です。

「特定-第12表」入力画面 ②



※管理関係事業者の場合、上記画面に相当する「認定-第5表」画面で必要な情報を入力して下さい。



## 「指定-第2表」入力画面

定期報告書作成支援ツール		
基本情報入力	エネルギー使用量入力 その他の情報入力 ブレビュー 報告書出力 ?	<b>D</b> A
	入力並保存	数値は半角入力
提出先登録	指定- 第2表	
特定	指定-第2表の「エネルギー使用量の対前年度比(%)」を算出するため、平成28年度の当該事業所の原油 換算エネルギー使用量を入力します。	
1表 2表 3表	(※1)指定・第2次は、12:エネルキー使用量1の入力内谷を自動来ましています。 (※2)前年度に定期報告を提出している事業者は報告した数値を入力してください(記入のヒント)。	
4表 5表 6表	今回、初めて定期報告する場合など、前々年度のエネルギー使用量を入力できない事業者は、空欄に いな以下にチェックを入れてください。	
/表 8表 9表 10表 11表 12表	提出初年度のため、前年度の「当該事業者のエネルギー使用量」のデータは無し	
	平成28年度の当該加業所エネルギー使用量(原油換算ki)(※半角入力) 150000	指定-第2表では、エネルギ
指定(事業所名を選択)		ー使用量(原油換算 <sup>kl</sup> )の
		対前年度比を算出するた
1表 2表 3表 4表 <del>4素</del> 6表		め、報告年度の則年度の当 該値を入力します
7表 8表 9表		記入のヒントをご参照くだ
10 表		さい。
エラーはありません。		
サナエック		
初めて定期報告をする場合など、	± ۲ ( ۲ ( ۲ ( ۲ ( ۲ ( ۲ ( ۲ ( ۲ ( ۲ ( ۲	
年度のエネルギー使用量を入力でる	÷	
ない場合は、下欄にチェックを入れ	ı –	
ます。		

## 「指定-第3表」入力画面



定期報告書作成支援ツール	- [[18]18]18	L	- C			× )
基本情報入力	エネルギー使用量入力 その	他の情報入力	プレビュー	報告書出力	?	
提出先登錄	指定-第4表 指定-第4表 指定-筆4表の「生産数量▽(1)	建物証床面積その他のエネ	レジーの使用と変換な関	 入力 係を持つ値」	を保存	数値は半角入力
特定	の対前年度比(%)を算出するた 入力します。	め、平成28年度の「エネルコ	一の使用と密接の関係	を持つ値」を		
1表 2表 3表	<ul> <li>(※1)当該年度の値は、「1・を</li> <li>(※2)前年度に定期報告を提い</li> <li>(※3)半角入力してください、提</li> </ul>	5本情報」の人力内容を表す としている事業者は報告した 出書類でけ有効数字4桁に	にしています。 牧値を入力してください( 丸めて表示します。	記入のヒント)。		
4表 5表 6表 7表 8表 9表	今回、初めて定期報告する場合が	こと、前年度のエネルギー使り	用量を入力できない事業	者は、空欄に		指定-第4表では、エネルギー
10表 11表 12表	して以下にナエックを入れてくたさい	。 度の「エネルギーの使用と密接	な関係を持つ値1のデー	- 々は無し		の使用と密接な関係をもつ値
指定 (事業所名を選択) △△△工場 ● 18. 2表 3表 4. 5表 6表 7. 8表 9表 10表	平抗28年度の当該事業所の工才	ルギーの使用と密接な関係。 	5持つ値 2000()			の対前年度比を算出するた め、報告年度の前年度の当該 値を入力します。 記入のヒントをご参照くださ い。
エラーはありません。 再チェック 終了		初めて定期報行 と密接な関係3 クを入れます。	告をする場合な をもつ値が入力	こど、前年度のエ りできない場合は	ネルギーの 、下欄のヲ	D使用 Fェッ

# 「指定-第5表」入力画面

定期報告書作成支援ツール		
基本情報入力	エネルギー使用量入力 その他の情報入力 プレビュー 報告書出力 ?	<b>D</b> A
	入力を保存	数値は半角入力
提出先登錄		
	1日 走 - 第5 3 公 指定 - 第5表の、「エネルギーの使用に係る原単位」の対平成28年度比(%)を算出するため、平成28年 度の「エネルギーの使用に係る原単位」を入力します。	
1表 2表 3表	(※1)当該年度の値は、「1:基本情報」及び「2:エネルギー使用量」の入力内容をもとに数値を表示 (自動計算)」ています	
4表 5表 6表	(1998) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (1997) (	
7表 8表 9表	(※3)キ月人力していたといっ提出書類では有効数子4mに入めて表示しよう。	
10表 11表 12表	今回、利助して足期報告する場合など、前年度のエネルキー使用量を入力できない事業者は、空欄に して以下にチェックを入れてください。	
指定 △△△工場 1 表 4 表 7 表 10 表 1 の表 1 本 1 本 1 表 1 表 1 表 1 表 1 表 1 表 1 表 1 表		指定-第5表では「エネルギー の使用に係る原単位」および 「電気需要平準化評価原単位」 の対前年度比を算出するため、 報告年度の前年度の当該値を 入力します。
エラーはありません。 <b>再チェック</b>		記入のヒントをこ参照くたさい。
初めて定期報告をする <sup>」</sup> 力できない場合は、下 <sup>‡</sup>	易合など、前年度の原単位を入 闌のチェックを入れます。	

## 「指定-第6表」入力画面



※指定4,5表の値を入力すると前年度の原単位の値は自動計算されます。

# 指定-第6表の入力で、原単位が改善できなかった場合に、その理由を入力 してください。(入力が不要な欄はグレー表示されます)

定 定期報告書作成支援ツール	
基本情報入力	エネルギー使用量入力 その他の情報入力 プレビュー 報告書出力 ?
	入力を保存
提出先登録	指定-第7表
特定	現在、指定-第6表に入力されている内容で自動計算した結果
1表 2表 3表	(イン過去5年度間のエイルキーの使用に係る原単位が毎年半約1%以上改善できなかった場合 (ロ)エネルギーの使用に係る原単位が前年度に比べ改善できなかった場合
4表 5表 6表	(ハ)過去5年度間の電気需要平準化評価原単位が年平均1%以上改善できなかった場合 (二)電気需要平準化評価原単位が前年度に比べ改善できなかった場合
7表 8表 9表	のいずれかに該当していますので、該当する欄に理由を入力してください。 (記入のヒント)
指定(事業所名を選択)	「イガの理由」 「エネルギーの使用に係る原単 位」が改善できなかった場合は
	(イ)、(ロ)に理由を入力しま
1表 2表 3表 4.表 5表 6表	9。 入力に当たっては、「記入のヒ
7表         8表         9表	ント」をご参照ください。
*********	「 (D)の理由
エラーはありません。	
再チェック	
	「電気需要平準化評価原単位」
	(ハ)の理由 が改善できなかった場合は
	「「「、」」に理由を入力します。
	入力に当たっては、「記入のヒ
	ント」をご参照ください。
	「二」の理由
<b>竣</b> 了	
終了	

### ◆(イ)、(ハ)への入力が必要なのは・・・

過去5年度間の原単位が年平均1パーセント以上改善できなかった場合で、 指定-第6表の5年度間の平均原単位変化が99.0%を超えた場合が該当します。

#### ◆(□)、(二)への入力が必要なのは・・・

原単位が前年度に比べ改善できなかった場合で、指定-第6表の当該年度における対前年度比が 100.0%以上の場合が該当します。

事業所の「基本情報入力」で「1.専ら事務所」を選択した場合の入力欄です。



「BEMS」、「情報提供」の詳細入力欄 以下のように表示されます。 該当する項目を選択してください。
● BEMSを採用した ○ BEMSを採用していない
<ul> <li>● 情報提供している</li> <li>● 一部の賃借事業者に情報提供している</li> <li>● 情報提供していない</li> </ul>

事業所の「基本情報入力」で「2.工場」を選択した場合の入力欄です。



# 「指定-第9表」入力画面

定期報告書作成支援ツール			_			
基本情報入力	ネルギー使用量入力	その他の情報入力	プレビュー	報告書出力	?	
				入力を	保存	
提出先登録	<b>指定-第9表</b> その他実施した措置					
特定	1.エネルギーの使用の合理	化に関する事項			指定-第9表で	は、先に入力し
1表 2表 3表	l.				た以外に省エ	ネのための改善
4表 5表 6表					措置を実施し	ている場合記入
/衣 8衣 9衣					します。	
10 31 11 31 12 31						
指定(事業所名を選択)	L			S		
木更津発電所	2. 電気の需要の平準化に	資する措置に関する事項				
1表 2表 3表						
4表 5表 6表						
7表 8表 9表						
10表						
エラーはありません。	L					
	ų					
<u>再チェック</u>						
終了					la	



※指定-第10表1、2のエネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量 は、入力したエネルギー使用量より自動計算するため入力は不要です。

※2017年度より、年間のエネルギー使用量が原油換算で1,500kl以上の未指定工場に ついても指定10表の項目を入力してください。

# ステップ2「プレビューで確認」

本ツールで入力する内容は、随時、定期報告書様式に反映されていきます。 画面上部の[プレビュー]をクリックしてください。定期報告書の出力内容を プレビューで確認できます。



- 【プレビュー機能をご利用いただくに当たっての注意点】
  - 「その他の情報入力」で赤色に点灯(追加入力・確認が必要)している表についても 表示できます。
  - ② エネルギー管理指定工場等以外の事業所についてもプレビュー画面でご覧いただけます。
     (ただし定期報告書は提出の必要はありません)
     (※)登録した事業所がエネルギー管理指定工場等であるかどうかは、本ツールにおいては「基本情報入力」での「エネルギー管理指定工場番号」の入力有無で判断しています。
  - ③ 入力した内容がプレビューに反映されるまでに時間がかかる場合があります。プレビューに反映されない場合は、一旦プレビュー画面を閉じて、「入力を保存」をクリックしたのちに、再度[プレビュー]ボタンをクリックしてください。
  - ④ プレビュー画面はプリントアウト可能です。ただし、記入漏れ等がある場合がありますので定期報告書としては提出しないでください。必ず完成した定期報告書(「報告書出力」から出力したもの)をご提出ください。 なお、誤って提出することを避けるため、「PREVIEW」という文字が入ります。
  - ⑤「リソース不足・・・」等のメッセージが表示 され、プレビュー表示ができなくなる場合は、 データを保存してツールを再起動してください。

	×
リソースが不足しています。申し訳ございませんが、アプリケーションを 終了し、再起動してください。	一度
	ок

ステップ3「報告書出力」

# 提出前チェック

### 定期報告書を出力する前の最終チェック

全ての入力が完了すると、定期報告書の出力が可能になります。出力前に、作成した 定期報告書に入力漏れ等がないか、「提出前チェック」で確認してください。 本欄ですべての確認(チェック)が完了しないと定期報告書は出力できません。 ご注意ください。

雇 定期報告書作成支援ツ−ル				·· · · · <del>·</del>	- 0	×
基本情報入力	エネルギー使用量入力	その他の情報入力	プレビュー	報告書出力	?	
<mark>提出前チェック</mark> 提出書類の出力 <u>電子報告システムはこちら</u>	提出前チェック(すべて 設置しているすべての事業 すべてのエネルギー管理指 または、エネルギー管理指 現在、エネルギー管理指 現在、エネルギー管理指 コ.500kU以上となっている事 エネルギー使用量の入力の 作成した定期解告書には、 (「その他の情報入力」の すべての提出先を登録して	をチェックすると「提出書类の に所を登録していますか。 定工場等について、指定-第11 定工場等の登録したれはありま 定工場等の指定は受けていない 薬所がすべて特定-第11表に に特問講違い、単位間違えはありま ・必要事項がすべて入力されてに 左パネルに赤字の数字がある場 ていますか。(事業者の行ってい)	2)出力」メニューを選邦 表~第9表を作成してし が、エネルギー使用量か 記載されていますか。 ませんか。 (はすか。 (はすか。 (はすか。 る事業が経済産業省以)	Rできます) ダ はい パますか ジ はい パ ジ はい 変です。 ジ はい ジ はい 少 はい ジ はい		
保存用データの出力	の官庁の所管業種の場合	は、当該官庁への現出も必要	ēš.		-	
終了						

## 提出書類の出力

### 定期報告書(提出用)ファイルの出力

 「提出前チェック」で全ての確認を終え た後に、左カラム「提出書類の出力」を クリックすると、登録した提出先と作成 された定期報告書がそれぞれ一覧で表 示されます。

※定期報告書は、入力漏れなどの不備 がない場合のみ出力可能です。 入力に不備がある場合は、半透明のボ タンとなり出力できません。

② 提出先と出力する定期報告書を選択し、 ファイル形式に対応したボタンをクリッ クすると、保存先のフォルダを指定する 画面が表示されます。



提出先と出力する報告書を選択して、ファイ ル形式に対応した出力ボタンをクリックし ます。

### ※出力可能なファイル形式はxml、pdf、csvです。

- xmlファイル…提出用(電子申請)および入力情報の利用等でお使い頂けます。
   トップ画面の「提出用XMLからインポートして開く」で読み込み 可能です。なお、「提出用XML」は、修正には使用できませんの でご留意ください。
- ・pdfファイル…報告内容の確認および紙ベースでの提出に使用します。

Adobe Readerで開くことが可能です。

(Adobe Readerは最新のものをご利用ください)

・csvファイル…入力した情報を自社で利用する場合等にお使いください。

<b>宁阳和仕事作出于场心。</b> 1	x	1
上州報告音*FRX又抜ジール		$\boldsymbol{I}$
ベンチマーク制度の対象事業者の可能性があります。対象事業者の場合は特定第6表、 特定第7表に記入してください。 出力を続行する場合はOKを押してください。		/
OK キャンセ	l	

ベンチマーク対象事業の可能性があり、特定第6表、 特定第7表が未記入の場合、ボタンをクリックした 際に左記のメッセージが表示されます。 対象事業を行っている場合は、キャンセルを押下し て、特定第6表、特定第7表を記入してください。 対象事業を行っていない場合は、OKを押下して、出 力を続行してください。

③ 保存先のフォルダを指定するとファイルの作成が開始 されます。特に指定しない場合は、「マイドキュメント」 内の「定期報告書データ(XML)」フォルダに出力さ れます。ファイルは指定したフォルダ内に、提出先ごと に作成されます。

PDFファイルの保存先ファ	りルダを指定してください。	
▲ 👗 定期報告書	作成支援ツール	
瀇 data		
🔋 PdfWork		
🛛 📔 printout		1
🔒 SaveDa	ta	=
🕌 Work		
▷ 📔 定期報告	書データ(CSV)	
▷ 📔 定期報告	書データ(PDF)	
▶ 🕌 定期報告	書データ(XML)	
A delate		

保存先のフォルダを指定します。

ファイル名は・・・

- 特定表 : (特定事業者番号)\_特定表(AP)\_提出.(拡張子)
- •特定表 認定総括表: (認定管理統括事業者番号)\_特定表 認定総括表(AP)\_提出.(拡張子)
- •認定表 : (管理関係事業者番号)\_認定表(AP)\_提出.(拡張子)
- 指定表: (エネルギー管理指定工場番号)\_指定表(AP)\_提出.(拡張子)
   (事業所名)\_未指定工場情報(AP)\_提出.(拡張子)
   ※特定事業者番号、認定管理統括事業者番号、管理関係事業者番号、エネルギー管理指定工場番号はそれぞれ登録した番号
   ※事業所名は、登録した事業所名(管理指定工場では無い場合)

ファイル名は変更可能ですが、XMLファイルをインポートデータとして使用する場合は、

"OO\_特定表(AP)\_OO"、"OO\_特定表・認定総括表(AP)\_OO"、"OO\_認定表(AP)\_OO"、

"〇〇\_指定表(AP)\_〇〇"とする必要があります。

国への定期報告は、「特定第1表~第12表」と「指定第1表~第10表(エネルギー 管理指定工場のみ。複数ある場合はそれぞれ)」のすべてが必要です。

定期報告書として正式に提出する場合は、xmlファイルでの電子申請を推奨しています。 pdfファイルを印刷した紙ベースの提出も可能です。





◆「リソース不足・・・」等のメッセージが表示され、PDFファイルが 出力できない場合は、データを保存してツールを再起動してください。

# 保存用データの出力

保存用データの出力

- 「保存用データの出力」をクリックする と、作成された定期報告書に係る入力デ ータが一覧で表示されます。
  - ※保存用データとして出力できるのは 「事業者及び事業所のすべて」と 「登録した事業所ごと」のデータです。



出力できるデータが一覧で表示されます。

- •「事業者及び事業所のすべてのデータ」
- …ツールで入力した全てのデータを特定表、指定表の複数ファイルで作成します。 トップ画面の「V4 以降のXMLからインポートして開く」で読み込んだり、 データバックアップ等に使用します。

ファイル名は・・・

- "特定事業者番号"\_特定表(AP)\_保存.xml
- "認定管理統括事業者番号"\_特定表・認定総括表(AP)\_保存.xml
- "管理関係事業者番号"\_認定総括表(AP)\_保存.xml

※特定事業者番号/認定管理統括事業者番号/管理関係事業者番号は、登録した事業者番号

- "事業所番号"指定表(AP)保存.xm] ※事業所番号は、登録したエネルギー管理指定工場番号
- "事業所名"\_未指定工場情報(AP)\_保存.xml ※事業所名は、登録した事業所名(管理指定工場では無い場合) ファイル名は変更可能ですが、XMLファイルをインポートデータとして使用する場合は、
  - "OO\_特定表(AP)\_〇〇"、"OO\_特定表・認定総括表(AP)\_〇〇"、"OO\_認定表(AP)\_〇〇"、
  - "OO\_指定表(AP)\_00"、"OO\_未指定工場情報(AP)\_00"
  - とする必要があります。("〇〇"は任意)
- 「登録した事業所ごと」
  - …「基本情報入力」「エネルギー使用量入力」「その他の情報入力」で入力 したデータを事業所毎の xml ファイルに作成します。 エネルギー管理指定工場以外も作成対象となります。

このファイルを各事業所に配布したり、各事業所で入力したデータをイン ポートして本社で集計する等、事業所間でのデータのやりとりに使用可能で す。

ファイル名は・・・

- "事業所番号"」指定表(AP)\_保存.xm) ※事業所番号は、登録したエネルギー管理指定工場番号
- "事業所名"\_未指定工場情報(AP)\_保存.xml<sup>※事業所名は、登録した事業所名(管理指定工場では無い場合)</sup> ファイル名は変更可能ですが、XMLファイルをインポートデータとして使用する場合は、
  - " OO\_指定表(AP)\_○○"、" OO\_未指定工場情報(AP)\_○○"とする必要があります。
     (" OO" は任意)

- 2 一覧から保存するデータを選択し、
   「XML形式で保存」ボタンをクリック すると、保存先のフォルダを指定する画 面が表示されます。
- ③ 保存先のフォルダを指定すると保存用のxmlファイルの作成が開始します保存先は任意で指定できます。デスクトップ、または任意のフォルダに保存してください。

XMLファイルの保存先フォルダを指定してください。	
🔜 デスクトップ	
▶ 🚼 ライブラリ	
🖌 🧟 森本 美登里	1
🕨 퉬 Roaming	
📔 アドレス帳	
▶ 🛃 お気に入り	
🚺 ダウンロード	
▶ 🏪 デスクトップ	
▲ 📗 マイ ドキュメント	
🍌 Office のカスタム テンプレート	
M ALLEL L. L. H.	+

定期報告書作成支援ツール	50	いいと思いまである	18.7229	1		1
基本情報入力	エネルギー使用量入力	その他の情報入力	プレビュー	報告書出力	?	
提出前チェック	保存用データの出力					
提出書類の出力	ここで保有	したファイルは	是出には使え	ません!	「全選択」ボタ	ンを押下すると
<u>■子報告システムはこちら</u>	本ツールで作成したデータ 出力したXMLファイルは、利 また、出力したデータを各電 まとめることも出来ます。	を、XMLファイルとして保存するこう 渡本ツールにインポートして使用 事業所に配布して利用したり、各	とが出来ます。 することが可能です。 事業所ごとに出力したもう	を収集して	全てのデータを て全項目にチェ す。	出力対象とし ックが付きま
	●提出用XMLノアイルと味 ・内容は似ていますが、提供 は保存できません、保存	採用×MLの違い■ と用×MLは字構報告書作成に 用×4年は当ツールの入力状態を	と要な情報に編集したデータ のままのデータを保持してお	マで、エラーのある状態で り、エラーのある状態で		
	全選択	-				
	大阪繊維工場					
	■保存データの復元方法					
保存用データの出力	・事業者及び事業所の全て ・登録した各事業所ごとの話	でのデータ : トップ画面の「V40 データ : 「事業所のインポート」	DXMLからインボートして開く 1機能で取り込めます。	」機能で読み込めます。		
		XML形式で保存	再度保存すると上書 必要に応じてパック:	書きします。 アップを取ってください。		
		١	\			
終了			出力する量	によっては、出力時	間がかかる場	
			合がありま	すのであらかじめこ	. ſ 承下さい。 🚽	1



## 参考:CO2計算シートの出力

### CO2計算シート(参考資料)の出力

プレビュー選択時、左カラムで「CO2計算シート」をクリックすると、事業所ごとのエネルギー起源CO2算定排出量の計算過程を示したシートが表示されます。

プレビュー表示する事業所はコンボボックスから選択してください。 (エネルギー管理指定工場でない事業所についても表示可能です) プレビュー画面はプリントアウト可能です。

※このプレビューは参考資料です。自社内での分析等にご活用ください。 定期報告書として提出する必要はありません。

嘉 定期報	服告書作成支	ぼツール										-			×
:	基本情報	认力	エネルギー	使用量入力	その他の情	報入力	プレ	יצב-	報	浩書出	カ	?			
この画面 は使えま	iで印刷した せん。	ものは提出	الة   الم	IN #   <b>4</b>	80%	-   🕁 🔯 📔	) 🍋 🕮		1/1		3 6	00161	<b>S</b> [{	1 1 1 1 1	10
			- 9 <sup>2222</sup>	2010年度 二 本 北京	009排出金					•••••				-	1
				201344/2 7 / 182	00210110	02重		販売した副性					•		
特定				原油 (コ)	ンデンセート除く)	(t-CO2) 265735.7 = (	使用重 101455 -	エネルギー量 · )	単位 kl	脾算係数   × 38.2 ×	非出係数 0.0187	変換値 x 44/12			
			1	原油のうちコンデン	ノセート (NGL)	0 = (	-	. )	kl	x 35.3 x	0.0184	x 44/12			
1表	2表	3表			揮発田 + フサ	0 = (		. )	ki ki	× 34.6 ×	0.0183	× 44/12 × 44/12			
4表	5表	6表			が5曲	0 = (	-	. ś	kl	x 36.7 x	0.0185	x 44/12			
	<u> </u>				輕適由	0 = (	-	· )	kl	х 37.7 х	0.0187	× 44/12			
7表	8表	9表			人 重油	0 = (	-	· )	kl	x 39.1 x	0.0189	× 44/12			
10 1	44.1	10 #			日・日期日	U = (			кі +	× 41.9 ×	0.0195	× 44/12 × 44/12			
10表	日表	12 衣			石油コークス	0 = (	-	. j	t	x 29.9 x	0.0254	× 44/12			
				6油カス											
			ang 1998 - 19	液化石	S油ガス(LPG)	0 = (	-	• )	t .	x 50.8 x	0.0161	× 44/12			£
指定	(事業	所名を選択	) 🖬 📗	1 前級性王然ガフ	「油系度化が素力ス	0 = (	-	. )	+n1	x 44.9	0.014	2 × 44/12			
	Τ堤		<b>-</b>	-1A81至0201人 液化3	K 然ガス(LNG)	0 = (	-	. )	t	x 54.6 x	0.0135	× 44/12			
				to	の他可燃性大然カス	0 = (	-	· j	+π1	x 43.5	0.013	9 × 44/12			
1 主	0.±	○主	1	石炭											
136	232	032			「 単炭	0 = (		. )	t +	× 29 ×	0.0245	× 44/12 × 44/12			
4表	5表	6表			無煙炭	0 = (	-	·	t	x 26.9 x	0.0255	x 44/12			
7表	8表	9表				0 = (		• • • • • •	t	× 29.4 ×	0.0294	× 44/12			
					コールタール	0 = (	-	• )	t	х 37.3 х	0.0209	x 44/12			
10 表					コークス炉カス	0 = (	-	· ?	1 m	× 21.1	0.01	1 × 44/12			
()) <b>*</b> + 4	12 ANY THE ANY OWN	<b>T 10 M</b> 10 10 A			高炉カス	0 = (	-	. )	+m 	× 3.41 :	0.026	3 × 44/12			£
じヨノエネル 業所も入っ	キー管理指定。 り内容の確認の	上場等以外の りためプレビュー	⊕ ₩		転用ガス	0 = (			+m 千㎡	x 0.411	0.038	4 X 44/12 6 × 44/12			£
表示できま	す。この場合、	指定-第3表、	第		100000	= (	-	. j	1						
/ 表、第8 なっておりま	表、第日表かな にすが問題ありま	は式のみの表示 時間。	ic i	ia								(控院分)			
					產業用素気	0 =			6J	×	0.06	- 0			÷
T=. /+	± n+ ++ /				産業用以外の恐気	0 =			GJ	×	0.057	- 0			
17-4	めりません。				am/lv Value	0 =			GJ GJ	ŝ	0.057	- 0			
- 🕈 🗖	CO2計算シ	-k		<b></b>							(調解	(8相出係数)			11 C
· · · ·		<b>***</b> ***			星間買電	0 =			fk⊪h	×		( )			
				± ⊕@mm==	初間覚电	0 =			÷κ⊪h	×		( )			
				C OTHERESO	ト記以外の質量	0 =			£k⊪b	×		( )			
						-						、 (控除分)			
						-						-			
				(約2+17)5三1 たちれ・ヨ	展示1766 石和出せ							- 0			
				本シートでは、参考)	wearentで明山里 として、当該事業所で	のエネルギー起源	iC02排出量のi	+箇過程を表示し	ています。			<u> </u>			
				事業所のCOZ基礎排出	暈(t-C02)	265735 (A)	H(B) +(C) - (D)								
				主として電気事業の用	用に供する発電所又は	熱供給事業の用に	供する熱供給	施設が設置されて	ている工場等	目において燃料	の使用に	「伴って			
				<u> 発生するC02排出量(t</u> 要素時のC02調整の出	-002)	265735.7 (A)	(P') 4(0) - (P'	) + (E)							
			Sec. 1	■ 発行のルのと調整排出 2021時のよう時間をつき	<u>me (1-002)</u>	260730 (R)*	n,ο ) τ(ς)=Ψ	<u>)+(£)</u>						-	6
終了															



# 便利な使い方

「保存用データ」を活用する

本ツールで入力したデータは、保存用ファイルとして出力することができます。 保存用データは、例えば、以下のように活用して頂けます。

【その1】報告書作成にあたり前年度データを利用する。



保存用データの出力で「事業者全体及び事業所のすべてのデータ」を出力しデスクトップなどに保存 してください。出力した xml ファイルは、ファイル名は変更可能ですが、中のデータを書き換えると ご利用できません。



本ツールのトップ画面の「V3の保存用XML(事業者全体)からインポートして開く」もしくは「V4以降のXMLからインポートして開く」にて、保存していたファイルをインポートしてください。 支援ツールの情報は継続利用できます。翌年は係数等が変更になりますので、必ず更新して、基本情報やエネルギー使用量を訂正します。

### 【その2】入力したデータを複数者間で共有する。



注意!データをインポートすると支援ツールの内容が追加または上書きされます。作業中のデータは 保存するか、保存用データに出力してください。入力途中のデータでも出力することができます。

# 複数事業所間でデータのやりとりをする

本ツールでは、入力したデータの保存・インポート機能を利用して、各事業所間で データのやりとりを行うことが可能です。

以下では、本社と各事業所が連携して報告書を作成するケースをご紹介します。

- (1) 各事業所でのデータ入力
- (2) 本社で全体のデータとりまとめ・最終チェック

# (1) 各事業所でのデータ入力

🗾 定期報告書作成支援ツール 基本情報入力

<u>提出年月日</u> 平成30年 6月 1日 □▼

新規 複製 削除 XMLから事業所インボート

事業者登録

\*\*\*\*

事業所ごと登録

\*\*\*\*

終了

(1)各事業所担当者(エネルギー管理者等) は、「新規作成」でツールを起動し、「基本 情報入力」にて当該事業所の基本情報を入 カしてください。



③基本情報以外の必要項目の入力を行います。

- エネルギーの使用と密接な関係持つ 値の実績値
- 1年間のエネルギー使用量 など
- ◆エネルギー管理指定工場等に指定され た事業所で、「指定-第1表~第10表」を 作成する場合は、「その他の情報 入力」の左カラムの表番号が全て黒に なれば入力完了です。
- ◆エネルギー管理指定工場等以外の事業所 の場合は、「基本情報」及び「エネルギ ー使用量」までを入力してください。



- 🗆 X

定期報告書作成支援ツール

④各事業所担当者は、データ入力が完了したら、「報告書出力」で、当該事業所の保存用データを出力し、本社に送付します。



「報告書出力」の「保存用データの出力」で 当該事業所をチェックし、「XMLファイルで保 存」ボタンをクリックすると、ファイルが作成 されます。

# (2) 本社で全体のデータとりまとめ・最終チェック

本社担当者は、各事業所担当者から送付さ れたデータを、本ツールにインポートしま す。

すべての事業所のファイルのインポートが 完了したら、本社担当者は、記入漏れ等がな いか確認し、ステップに沿って残りの記入事 項を入力し、報告書を完成させます。



「基本情報入力」の「事業所のインポート」で、 各事業所から返送されたデータファイルをイン ポートします。

# 注意事項(必ずお読みください)

(1) 本ツールで使用するフォルダやファイル名称を変更しないでください。 本ツールを起動すると、マイドキュメントに「定期報告書作成支援ツール」フォルダ が生成され、入力の保存や報告書データの出力に利用しています。これらのフォルダ を削除したり、名称を変更したりしないでください。ただし、出力した定期報告書、 保存用データについては保存先の変更が可能です



(2)「基本情報入力」で登録済みの事業所を削除した場合、当該事業所のエネルギー使用量等のデータもすべて削除されます。

「基本情報入力」で登録した事業所は、同画面の [削除] ボタンで削除できますが、 削除した場合、当該事業所で既に入力したエネルギー使用量や「その他の情報入力」の 入力内容も同時にすべて削除されます。

#### (3)「入力を保存」機能は常に上書きされます。

本ツールで、途中まで入力したデータがある場合(「入力を保存」で保存している場 合)、「新規作成」「提出用XMLからインポートして開く」や「保存用XML(事業者全 体)からインポートして開く」を選択したのち、「入力を保存」または「保存しますか?」 で「はい」を選ぶと、前回保存した途中までの入力データは上書きされますのでご注意く ださい。「入力を保存」しなければ、前回保存したデータは残っています。必要に応じ「保 存用データの出力」機能で、別途保存してください。

## (4) プレビュー画面をプリントアウトした書類は、定期報告書として提出しないように してください。

プレビュー画面で表示しているものは、誤記入などが含まれている可能性があるため、 定期報告書としては提出しないでください。プレビュー画面で最終チェックを行い、「報 告書出力」から出力したものを正式な書類としてご提出下さい。

### (5)提出用xmlファイルと保存等xmlファイルの違いは以下のとおりです。

- ・提出用xmlファイルは、定期報告書の出力に必要な情報に編集したデータです。 入力内容に不備がある状態では保存できません。
- ・保存用xmlファイルは、本ツールの入力状態そのままのデータを保持しており、 不備があっても保存できます。

※共に本ツールのトップ画面から事業者全体のデータとしてインポート可能です。 その際、提出用xmlファイル、保存用xmlファイル共にフォルダ単位 (フォルダ内には特定表と指定表が揃った状態)を指定します。 また、保存用xmlファイルの事業所毎のファイルは、「基本情報入力」から 事業所毎にインポートも可能です。
よくあるFAQ

#### Q1:入力途中で提出年月日を訂正したい

A1: 提出年月日に限らず、住所や事業所名、エネルギー使用量等の項目についても入力途 中で訂正したり、各タブ間を移動して追加入力することも可能です。

提出年月日は任意の時点を選択できますが、温室効果ガス排出量を算定するための 排出係数や熱量換算係数等は毎年変更されることがあるので、必ず「年度確認」して ください。

年度確認は「トップ画面」の左下の「係数等設定情報の更新について」をクリックす ると確認できます。

# Q2:入力できない(入力すると文字が消えてしまう)

A2: 数値を入力する欄(郵便番号、特定事業者番号、電話番号、エネルギー使用量等)で <u>は半角数字で入力</u>してください。全角入力はできません。また入力桁数が決まってい る場合(特定事業者番号だと7桁)、桁数を越えた入力は自動的に削除されます。正 しい桁数で入力してください。

# Q3:事業所名が全部表示されない

A3: 左カラムに表示する事業者名、事業所名は、40文字以上の部分の表示を省略していま す。プレビュー画面や出力した定期報告書ではすべて表示されます。また、右カラム の入力欄においても、職名などが長い場合はすべて表示されませんが、同様にプレビ ュー画面等ではすべて表示されます。

## Q4:同じ名前の事業所でも重複して登録ができますか

A4: <u>同じ名前の事業所も重複して登録できます</u>。その場合、データは上書きされず、同名の事業所が追加されます。

エネルギー管理指定工場等の名称は、定期報告書(指定-第1表等)にそのまま表示 されますので、正しい事業所名が入力されているか確認してください。

#### Q5:作成した定期報告書に不備があるが、どこを確認すればよいかわからない

A5: 定期報告書に不備があり出力できない場合は、「その他の情報入力」の表番号が赤色 に着色されていますので、該当する表番号をクリックして確認してください。

#### Q6:有効数字4桁とは

A6: 有効数字とは、「ある数値を示す数字のうち、実際の目的に有効な、又は有意義な桁 数を採用した数字(広辞苑)」です。定期報告書に記載する「生産数量等エネルギー の使用に密接な関係をもつ値」及び「エネルギーの使用に係る原単位」の数値につい ては、その変化率を「%(パーセンテージ)」で小数第一位まで把握するために必要 な桁数(有効数字4桁)をもって記入します。

本ツールでは最下位を四捨五入して有効数字4桁にする自動処理をしています。入力 した原単位の数値とプレビューが異なる場合は、有効数字4桁に処理されているためで す。なお、数値を入力する欄では、小数点以下の末尾にOを入力しても省略します (0.1260と入力すると0.126になります)。

プレビューや提出書類では、自動処理によって有効数字4桁で表示します。

## Q7:プレビューをプリントしたい

A7: プレビュー画面は、プリントすることが可能です。ただし、同時にプリント可能なの はプレビューしている表のみになります。プレビュー画面の左上にプリントするボタ ンがあります。ただし、定期報告書として提出する場合は、「報告書出力」-「提出書 類の出力」から出力したものを使用してください。

#### Q8:プレビューや出力したpdfがうまくA4で印刷できない

A8: プリントするときに「印刷」ダイアログが表示されます。ページの拡大/縮小で「用紙に合わせる」を選択し「自動回転と中央配置」にチェックを入れてください。この ほかpdfのプリント方法に関しては、ご使用のソフトウェアのヘルプ等も参考にして ください。

## Q9:プレビューと出力したpdfの内容が異なる

A9: プレビューはその時点での入力内容を反映していますので、プレビューした時期と出 力した時期が異なると内容は合致しません。

# Q10: プレビューを見るときは

- A10: ツールの画面右上の [プレビュー] ボタンを押してください。ツールで開いている ステップに関連するページをプレビューできます。また、表や事業所を指定して、 プレビュー表示も可能です。プレビューは何度でも見ることができますが、ご使用 の動作環境により、プレビューを表示するまで時間を要する場合があります。
- Q11:入力した内容がプレビューに反映されない
- A11:入力した内容がプレビュー画面に反映されるのに多少の時間を要する場合がありま す。入力がプレビュー画面に反映されない場合は、「入力を保存」で一度保存して から[プレビュー]ボタンをクリックしてください。特に計算を必要とする「エネ ルギー使用量」の入力欄では、数値を入力したら[Enter]や[Tab]キーを押して入力 を確定してから[入力を保存]ボタンを押してください。

Q12:異なるパソコンで分担作業(グループ作業)したい

A12:対応機種の範囲内ならば、OS等の環境が異なってもグループ作業は可能がですが、 特殊な文字や記号を使う場合は他の文字で代用するか、文字についての説明 を追記してください。

なお、本ツールでは画面の視認性を考慮し、立法メートルはm3、キロリットルは kl 、トンは t で代用等を行っています。

Q13:入力途中でも出力やインポートできますか

A13:保存用データについては、入力途中であっても、出力及びインポートが可能です。 提出用の定期報告書については、入力途中の部分(不備がある部分)がある場合は、 出力できません。

なお、入力が完了したら、保存用データを保存し、入力途中のデータは残さない ようにしてください。

# Q14:出力したファイルのファイル名を変更してもよいですか

A14:出力したファイルの拡張子は変更できませんが、ファイル名称は変更できます。た だし、当ツールの旧バージョン(V3)で作成した提出用のXMLファイルを当ツー ルのインポートに使用する場合、ファイル名は"OO特定表.xml"、"OO指定 表.xml"である必要があります。("OO"は任意) また、当ツールのV4.0以降で出力したXMLファイルをインポートデータとして 使用する場合は、"OO\_特定表(AP)\_OO"、"OO\_指定表(AP)\_OO"とする 必要があります。("OO"は任意) また、保存用データは、本ツール以外のソフトウェアでファイルを開いたり訂正し たりしないでください。

# Q15:事業所のデータをインポートしたとき、事業者全体のデータは上書きされませんか

A15:「登録した事業所ごと」の保存用データには、「基本情報入力」の事業者登録の入 カ内容及び「その他の情報入力」の特定表番号「1」~「12」については含まれない ので、事業者の情報については上書きされません。但し、各事業所データの数値を集 計している箇所等には再集計した値が設定されます。

# Q16:前回報告と比較してエネルギー使用量がかなり異なる

- A16:以下の可能性が考えられますので確認してください。
  - 「エネルギー使用量入力」で入力した数値の桁数、単位を誤って入力している。
  - 前回報告時の数値の桁数、単位を誤って入力している。
  - 事業者が設置しているすべての事業所の入力が完了していない。

Q17:前回報告とCO2排出量がかなり異なる

A17:「プレビュー」で、左カラムの「CO2計算シート」のボタンで事業所ごとのCO2 計算過程が表示されますので確認してください。

特定-第12表及び指定-第10表のCO2排出量は、事業所ごとのエネルギー使用量な どの入力内容を合計して自動計算しています。すべての事業所についてエネルギー使 用量を入力しているか、入力したエネルギー使用量の桁数、単位を誤って入力してい ないかなどを確認してください。

また、調整後CO2排出量については「その他の情報入力」の特定表番号「12」を 開いて、非エネルギー起源CO2などの入力に誤りがないか確認してください。

なお、温室効果ガス排出係数や熱量換算係数等は、年度ごとに異なる場合がありま すので、必ず「年度確認」してください。

# Q18入力した数値とプレビュー面や出力される定期報告書に表示される数値が異なる場合 がある

A18:プレビュー画面や出力される定期報告書に表示される数値については、小数の四捨 五入や有効数字4桁への丸め処理を行っていますが、小計値、合計値、熱量換算値な どは、入力された実際の数値を計算・集計していますので、プレビュー画面や出力さ れる定期報告書に表示された数値に換算係数を乗じた値が異なる場合があります。

また、本ツールでは、事業者全体で合計してもエネルギーの使用量が極めて少ない ため、小数第一位を四捨五入することによって「O」となる場合についても、入力した 数値をもとに計算する熱量が「O」以上になる場合があるため、当該ケースでは数値は 「O」とし、熱量は計算した結果を整数で表示しています。

# Q19:新規事業を開始した場合、事業の統廃合があった場合、特定-第3表はどのように記入されますか

A19:事業所の主たる事業やエネルギーの使用に密接な関係を持つ値は「その他の情報入 力」の「特定」の「3表」で確認することができます。新規事業の開始や事業の統廃 合などで、今回から報告から外れたり、今回の報告から追加された場合、特定-第3表 では寄与度は計算されません。(例1及び例2をご参照下さい)

なお、エネルギーの使用と密接な関係をもつ値について、やむをえない事情で変更 する場合には、その理由と、原則、当該年度を含む過去5年度分の新旧単位による生産

# 数量等の対比表を作成し、定期報告書に添付してください。



Q20:ツールが動かなくなった(画面が何も反応しなくなった)

- A20:しばらく待っても反応しないときは強制終了をしてください。強制終了の方法は動作環境によって異なりますので、使用しているPC等の説明書をご確認ください。
  - 強制終了した場合、保存していないデータは失われますので、バックアップデータ を保存しておくことをおすすめします。
  - 動作が遅くなる場合は、プレビュー画面を閉じるか、他の立ち上がっているアプリ ケーションを終了する等をお試しください。

なお、「基本情報入力」の「事業所ごと登録」において登録する事業所数が多数に なった場合、動作が遅くなる場合があります。その場合は、エネルギー管理指定工場 等以外の事業所についてまとめて登録する方法をお試しください。動作速度が改善す る場合があります。

Q21:アプリケーションが起動しない

A21:今まで使っていたのに起動しなくなった場合、重複して起動している可能性があり ます。パソコンで起動しているすべてのアプリケーションを終了してから、本ツール を再度起動してみてください。

初めてのご利用の際に、起動しない場合、正しくファイルが設置されていない可能 性がありますのでご確認下さい。

# ホームページから最新情報を入手する

定期報告書作成支援ツール及びCO2排出係数等の更新用ファイルは、ホームページ で配布しています。

# 問い合わせ先

窓口	電話番号	管轄区域
北海道経済産業局エネルギー対策課	011-709-1753	北海道
東北経済産業局エネルギー対策課	022-221-4932	青森県・岩手県・宮城県・
		秋田県・山形県・福島県
関東経済産業局省エネルギー対策課	048-600-0362	茨城県・栃木県・群馬県・
		埼玉県・千葉県・東京都・
		神奈川県・新潟県・山梨
		県・長野県・静岡県
中部経済産業局エネルギー対策課	052-951-2775	富山県・石川県・岐阜県・
		愛知県・三重県
近畿経済産業局エネルギー対策課	06-6966-6051	福井県・滋賀県・京都府・
		大阪府・兵庫県・奈良県・
		和歌山県
中国経済産業局エネルギー対策課	082-224-5741	鳥取県・島根県・岡山県・
		広島県・山口県
四国経済産業局エネルギー対策課	087-811-8535	徳島県・香川県・愛媛県・
		高知県
九州経済産業局エネルギー対策課	092-482-5474	福岡県・佐賀県・長崎県・
		熊本県・大分県・宮崎県・
		鹿児島県
沖縄総合事務局経済産業部	098-866-1759	沖縄県
エネルギー対策課		
資源エネルギー庁省エネルギー課	03-3501-9726	
產業技術環境局環境政策課環境経済室	03-3501-1679	(温室効果ガス排出量の報
		告の内容に関する問い合
		わせ)

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標、証憑 又は商品名称です。
- その他、記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。
- 本書の内容の一部又は全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容は、将来予告無しに変更することがあります。
- 本書で紹介している定期報告書作成支援ツールを利用したことにより発生した利用者の損害及び利用者が 第三者に与えた損害については、上記にかかわらず責任を負いません。